新真婦人

第四号〔八月号〕

第一巻第四号 大正二年五月一日第三種郵便物認可 大正二年八月一日発行（毎月一回一日発行）大正二年七月二十六日印刷納本

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上
學力尋常小學卒業以上
品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察 月、水、木、金、午前
入院診後應需
林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

（電本）八八八八（病院用）
八九八八（自宅用）

東洋内科醫院

東京神田駿河臺鈴木町二御茶水橋南

院長 醫學士 高田畊安

相州高座郡茅ヶ崎町海濱從停車場半里

電話 ちがさき二番

南湖院

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤
院長診察土曜日午後。入院、診後應需

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

宮内省御用達

世界到る所の新らしい女が嗜用する

TRADE MARK

ヒゲタ印醤油

ヒゲタ印醤油

ヒゲタ印醤油醸造元

千葉縣銚子港

田中玄蕃

電話銚子十四番
振替東京百十九番

新眞婦人第四號

口繪　奢侈女の死後の處刑

宣言

口繪の說明、表紙の解

婦人と大志　西川文子

女も時に裸體とならねばならぬ　安達生

夫の不品行を苦にせる御婦人方へ　網島佳吉

彼の世の小町より　あぐり

貧しき婦人ジヨンソンさん　柳子

山登りの流行　一記者

婦人脫線論　高野重三

智識の後見　高島平三郎

談話室

ホントの夫婦ぢやない（向軍次氏談）△不都合なる夫人達（安井哲子女史談）△生活と藝術と事業と（田村俊子女史談）△存外着實な女優生活（林千歲女史談）

女子職業論　吉岡彌生

戀の名だて　柏女

十四の戀（小說）　游子

八月一日發行（目次）

日本女性史（四）　新眞婦人社
オキシバサー　一記者
八ツ岳山麓農場日記　吉川たみ子
松井須磨子論　西川文子
他山の石
夫婦喧嘩の必要（岩野清子氏）△眼は小供から少しも離れぬ英國婦人（巖谷小波氏）△生命の源―文化の泉（内ヶ崎作三郎氏）△婦人問題に就て（下田歌子女史）△意志の強い女（岸邊福雄氏）△婦人に肝要な新しき覺悟（江木衷氏）△有機社會の一分子（富士川游氏）△男女對等（島村抱月氏）
桃の實（短歌）　小口みち子
前回講演筆記の正誤　高野重三
圓窓よりを讀みて　木村駒子
募集文藝（和歌―俳句）
いざこと問はむ東鳥　如水
東西南北（宮崎光子女史より△藤生てい子女史より△尾崎恒子女史より）
婦人問題研究會〇新刊紹介（予が婦人觀△婦人運動△中央公論婦人問題號）

小說白樺叢書

夏目漱石氏

此春病氣にて志賀直哉氏の『留女』を讀み感心致して。其時は作物が旨いと思ふ念より作者がえらいといふ氣が多分に起り候。有島氏の『蝙蝠の如く』も面白いから本になつたのを讀まうと思つてつひ讀まずに仕舞申候（七月六日時事新報）

武者小路實篤著

世間知らず

定價金八拾錢
送料金六錢

志賀直哉著

留女

定價金壹圓
送料金八錢

有島生馬著

蝙蝠の如く

定價金壹圓
送料金八錢

發行所　東京麹町二丁目二番地　振替東京二〇九一四番　洛陽堂　電話番町四二五八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

奢侈女の死後の處刑

ザー・セガンチニイ筆

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人　第四號

宣言

△私たち銘々の心の奥底には、尊い眞な活きた者があります、この無限の潜在力を何處までも發揮しやうと努力しますのが、新らしい眞の婦人の生活であります。

△私たちは斯ういふ精神で努力すると共に、また他の御婦人がたへも御勧め申したいので、此の雜誌を發行することに致しました。

△詳しく申しますると、新藝術、新道德、新信念を發見し、開拓しまして、茲に新らしい人生を創建するのであります。

△それでありますから將來の新藝術は、信念上の努力の表現でなければならぬ事を宣明します。

△要するに、私たちは無限の潜在力を啓發しまして、有史以來、未だ曾て認めなかつた新らしい女性の人格をも、成就しやうと努力するものであります。

△其の立場から見て、結婚問題、離婚問題、家庭問題、其他婦人に關する一切の問題を、研究し、論議し、更に歐米に於ける婦人問題に關する論議に就ても充分に研究して、之れを何の位の程度まで、我國の婦人に適用すべきものであるかと云ふことも知りたい。之れも本誌の目的の一であります。

△又社中同人及び社友諸姉の創作もオイ／＼發表し、紙數の如きも、本社事業の發展に伴ひ、次第に増加する考へであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

口繪の說明

是はこの畫家の晩年の作です。彼の神祕的思想は壯嚴な寫實の背景と微妙な調和を保つて深い〳〵或る物を語つてゐる。想はダンテの神曲などから得たといふことです。彼は白雪皚々たるアルプス山中を物狂ほしいほどに愛して、そこに住んでゐた而してこの幻の子を生んだのです。

畫は卽罪ある女の魂が山中の暴風に吹きまはされて、やすむ時なく、永遠の雪と氷から救はれる望も絶え果てた恐ろしい狀をあらはしたものです。

表紙畫の解

僧牧溪或時牝雞の狗子を飼ふを看る始は蟪蛄の如き者抔與ふるに狗子啼いて一向食せざりければ牝雞は痛く思煩ふ樣にてありしが遂に狗子の喜こぶものを求め來り之を養ひけるとなり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人と大志

西川文子

一

家庭論をする人が、臺所の整理だの、會計簿のつけ方だのを喧ましく云ふ時代があつたが其後如何に臺所が整理しても、如何に會計簿のつけ方が甘くても、夫婦の間が圓滿でない樣であつては、何んにもならぬと云ふことに氣が付き、近頃は家庭論が大分精神的になつて來た。之れは實に悦こぶべきことであるに相違ない。

けれどもまだ婦人に大志をすゝむる人の尠ないのは、私共の大に遺憾とする所である。今日の日本婦人の多くは自分の家庭のことしかエー考へない。之れは如何にも殘念のことである私共は、日本にも國家の爲め、人類の爲めに考へる樣な、廣い考への婦人の輩出せんことを祈りて止まざるものである。

二

先日も『米國に於ける平和運動』と云ふ書物を讀んで見ましたら、銀行家ヘンリー・クリユを會長とし、タフト、ルウズベルト、カネギーを名譽會長とせる『米國平和と仲裁協會』の傳道部長を勤むるものはエルマ・ブラック夫人であると書いてあつた。ルシヤ・エムス・ミイドと云ふ婦人は、世界平和の爲めに巡回講演者として有名であると書いてあつた。米國學生平和協會の書記として活動せるはフアニイ・フアン・アンドリユス夫人であると書いてあつた。アンナ・スタアゼエス・リアヤー夫人は世界平和を目的とする婦人團體の必要を說いた有名な講演者であると書いてあつた。又マサチユセエツの平和協會にはマリー・シイビユリー及びヘレン・シイビユリー

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の如き熱心な二女史があると書いてあつた。私は之れを讀んで恥かしく思つた、噫日本にはまだ世界平和の爲めに盡そうなどと云ふ雄大な理想の婦人は一人もない。早くコウ云ふ婦人を日本にもあらしめたいと云ふのが、私共の熱望して止まざる所のものである。

獨り米國のみならず、歐洲各國には、皆ソレ〴〵偉大なる婦人が居る。我國にも偉大なる婦人出でずんば、歐米各國と文化を等しくすと云へないことになる。

三

世には、考への狹まい利己的な婦人を妻にした爲めに、何にかしようとする毎に、家庭で反對されて先づ其の鋭鋒を折られ、あたら男を反古にしたものがドレ丈けあるか知れぬ。されば此の點から云ふても、偉大なる婦人の出ることが、ドレ丈け望ましいことであるか知れぬ。少なくとも考への廣い、理想の高い男子の理想を了解し得る婦人の、多く出づることは、目下の一大急務である。

四

更に又、偉人の母は凡て偉大なる婦人である、偉大なる婦人の腹からでないと偉人が生れて居らぬ、此の點から見ても私共は偉大なる婦人の出現を希望せずして止むことが出來ぬ。

聖オーガスチンは、其の青年時代には放蕩な人物であつた、されども其の母モニカの不斷の祈りによつて、彼は次第に變化して來た。

其の海を渡りて羅馬に赴き、更に轉じてミランにト居するや、母モニカも海を渡りてミランに赴き、彼と同居して、尚も彼の爲めに祈つた。モニカの祈りは遂に全く聞かれて、オーガスチンは基督敎の傳道者たらんと決心した。モニカは我が子の決心を聞いて、神が遂に自分の祈りに答へ玉ひしことを感謝し、早速二人で國へ歸つて、傳道に從事せんと欲し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ミランを立て、羅馬のオスチヤ港に赴いた。翌朝の便船で亞弗利加へ渡るつもりで、母子はオスチヤ港の一旅舍に宿し、旅舍の窓から暮れ行く海を眺めつつ、過こし事どもから將來の事どもまで親しく物語つた。此の物語の了らんとする頃、モニカは急病にかゝりて、遂に旅舍の一室にて客死した。モニカの任務はオーガスチンを人と爲すにあつた。其の任務が了つたから、彼女は安心して此の世を去つたものであつた。オーガスチンは又、母の死によりて愈々其の決心を强固にした、而して母の死體をオスチヤ港に葬むつて置て、亞弗利加に渡り、それから四十二年間、亞弗利加で基督敎の傳道に心血を注いだ。

私はオスチヤ港の枯骨が、四十二年間オーガスチン活動の源泉であつたらうと想像する。

私は不斷我が子の爲めに祈る樣な、精神的な婦人、枯骨となつてからも、我が子の活動の源泉になる樣な婦人が、我國にも多く出づるに至ることを、心から祈りて止まざるものである。

婦人も大志を持たねばならぬ、ソレに就ての私の議論は大略、右の如くである。

女も時に裸体とならねばならぬ

テニソンの詩に「昔或國に暴君があつた。皇后が心配して、どうかソンナに人民をイヂメないで下さいと願つた。スルと王樣は若し御身が裸體になつて市中を廻つたらば聞き許すと云はれた。皇后樣は私の力で多くの人民が助かる事ならばドンな事でもいたしましやうと云つて、裸體で馬に乘つて市中を歩く事とした。人民は皆皇后樣の御心に感泣して戸板の節穴までもふさぎ、犬猫さへも其日は戸外に出さなかつた。女はやさしくしとやかであらねばならぬが又時と場合によつては裸體になることをも辭せぬ勇氣がなくてはならぬ」と云ふのがある。廢娼運動に盡力した、バトラー女史は人の己を攻擊した時、この詩を引て敢て屈しなかつたと云ふ事を聞きました。ナント面白い話ではありませんか(安達生)。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夫の不品行を苦にせる御婦人方に

綱島佳吉

夫の不品行を苦にして居らるる御婦人方の御參考までに、前號には高島平三郎先生の談話を掲載しましたが、本號には綱島佳吉先生の談話を掲載します。（記者）

（第二）

私は之れまで、夫の不品行を苦にせる御婦人方に大分澤山面會したし、又手紙でドウすればよいかとの質問にも接した。此の問題に對する私の考へは、大略左の如くである。

今日の日本男子の多くは、どうしても婦人に對して不心得である、不親切である、てんで家庭の神聖と云ふことを知らぬ、藝娼妓に觸れることを恥とも何んとも思ふて居らぬ。之れは實に重大な問題で、根本的に解決せねばならぬものであると信ずる。併し之れは急に解決の出來ぬことであるから、差當り夫の不品行を苦にせる御婦人方の執るべき態度に就て二つのことを云ふて置きたい。

積極的の態度

元より吾々の理想から云へば、一夫一婦主義を嚴格に守らねばならぬ。さりながら之れを嚴格に守り得るものは、今日の日本では殘念ながら極めて尠ない、先づ宗敎を信ずることの篤い男子位なものであらう。であるから自分の夫が不身持でも（私は決して男子の不品行を寛恕するのではないが）、ソレは次の問題として、其の御婦人方に先づ左の如き積極的の態度を執りて貰ひたいと思ふ。

私の所謂積極的の態度とは御婦人方が、我家を美しき所、慰めを得べき所、夫の重荷を卸すべき所と

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

爲すのが、私共の責任であると感ずることを云ふのである。西洋の婦人は能く此の事を知つて居て、家庭を誠に樂しい所にして居るが、日本の家庭では多くの場合ソレが出來て居らぬ。日本の婦人は、夫が疲れて外から歸つて來ても、先づソレを慰めようとはしないで、いきなり心配事を相談したりする。之れが無敎育な婦人ばかりでなく、敎育のある婦人もソレだから驚く、否今の日本ではドウ云ふものか、敎育のある婦人程、夫を悦こばす態度を執らぬ樣である。ソレだから家庭が面白くない、自然外で遊ぶ樣にもなるのである。若し日本の御婦人方が、夫を悦こばす態度をとりて、氣轉をきかせて甘い工合に夫を慰められたならば、家庭が面白くなりて自然に夫が外で遊ばなくなる。男は存外弱いものである。御婦人方が男の急所を押へさへすれば、男はドウでもなる。

何事も積極的に氣を付けて、家庭を面白くし遠廻はしに男子の不品行を匡正する態度に出て貰いたい之れが私の所謂積極的の態度である。

アキラメ主義

右に述べた積極的態度に出ることの出來ぬ御婦人方には、アキラメ主義をおスヽメしたい。イクラ夫が不品行をしても、矢張り恐いものは妻君、可愛いものは小供に定まつて居る、ドンナことがあつても之ればかりは忘れ得ぬから、何時か夫の不品行も直るであらうと、末を見越して、安心し、小供でも養育することに骨を折りながら時を待つのである。玆に所謂アキラメ主義とは卽ちコウ云ふ心持で時を待つ態度を云ふのである。

同時に、自分のことばかり考へないで、目を大にして、廣く世間も見渡し、世の中には不幸な婦人の多きことを知りて、彼女等を慰める事に骨を折り、又成るべく自分の趣味を廣くすべく努めて貰いたい

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のである。婦人が自分のことばかりしか考へないのは、婦人自身の不幸ばかしでなく、夫の不幸でもあり、國家の不幸でもある。

最後に

世の中には完全なものが一つもない、併し皆な完全たらんと努めて居る、ソコに生命があるのである婦人が夫の不品行の爲めに苦しむのも、婦人を完全にする修養の爲めに必要であるのかも知れぬ、斯く考へて努力せよ、さすれば夫の不品行位、苦もなく直せるのである。

彼の世の小町より

黒岩氏の小野小町論のあらましを彼の世にて風のつてにききたる小町遍照の贈答の歌

小町よりへんせうへ

涙川みはうきくさの根もしらぬ
　うき名を君は何ときゝつや

へんせうより小町へ

いもが名にそはぬわが身はさもあらばあれ
　大御心のゆくをおもへば

へんせうより小町へ

よのひとのしらぬ山路のこけごろも
　かけてねはむの夢しづかなり

小町よりへんせうへ

苔衣かさねつらさをなさけにて
　ともにねはむに入ろぞ嬉しき

あやまりとかれける歌を思ひて　小町

見しことはあらずといひしことをさへ
　にごりて人のよむ世なりけり

（あぐり）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

尊き婦人ジョンソンさん

柳子

一

ジョンソンさんは米國の宣教師で、年五十二になられますが、未だに獨身で居らるゝ婦人です。明治十九年に日本に來り、滯在二十七年の長きに亘りますが其の間二度母を見舞ふ爲めに歸つた丈けで、傳道と、孤兒、貧兒を養育することゝを、其の天職とせられて居ます。ジョンソンさんが小供の世話をして居るのは

一は、貧困者に錢を與へるのは、反て其人の害になる、貧者を助ける最も善き方法は其の小供を世話してやるにあり

との理由によるのであるが、モウ一つは

小供は皆神様のものだから、大切にしなければなりません

との議論ありてゞある。今までに四十五人の小供を世話し、人の女房になつて居るものも、獨立の職業をして居るものも、又同志社の音樂の先生になつて居る人もあるとのことです。現在氏の手元にある小供の數は十八人である。

ジョンソンさんは本郷駒込林町に住し、教會も林町に持て居らるゝが、教會の爲め、育兒の爲めに要する費用は、一切本國の友人よりの寄附にて支辨し、米國の傳道會社にも、日本のドノ教會にも關係がないのである。吉田清太郎氏がジョンソンさんを助けて、傳道の任に當つて居らるゝ。

二

ジョンソンさんの事業に贊成して、金を送つて來る米國婦人の中にコンナ人がある。

Digitized by Google   Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此の婦人は、其の娘時代にジョンソンさんの事を聞いて感憤し、私も獨身の生涯を送てジョンソンさんの樣な事業がして見たいと決心した。此の決心は故ありて破れ、彼女は或男と結婚することとなつたが、せめては每年何程かづつジョンソンさんの手許へ送金して、其の事業を助けたいと思ひ、夫に其の事を話して、寄附する丈けの收入を得らるゝ道を開いて下さいと願つた。夫は早速快諾して僅かばかりの地面を呉れた。彼女は此の地面にストローベリーを植ゑて、朝夕丹精し、やがて見事な苺のなるを待ちて金に代へ、其の金をジョンソンさんへ送るのであつた。彼女は斯くして送金すること十二年、其の十二年間にたつた一年丈け、夫が病氣して看護の爲めに苺が作れなんだと云ふて、送金して來なかつたとのことである。而して此の苺の金で、ジョンソンさんの手で一人の女の子が育てられたが、此の子は十八歳になつて死んだとのことである。

娘時代の考を結婚しても忘れず、十二年の永い間苺を作つて、遥々送金して來た美談、私はお話を承はりて、思はず感泣致しました。

モウ一つ、コウ云ふ美談がある、此間ジョンソンさんの所へ、長文の手紙に四十弗の金を添へて送て來た者がある。其人は米國の或小さな停車場の驛夫であつて、手紙には左の如く書いてあつた。曰く

回顧すれば、モウ二十年も昔のことです、貴女が日本から一寸御歸國あつて、或會でお話をして下さつたが、其の席末に私も列して居ました。其時貴女は、日本の秋田にコンナお婆さんがあると云ふて、『基督を信ずるものは、其の收入の十分の一を出して、憐れな人々を救はねばならぬ』との教を聞くや否や實行した、蜜柑賣の婆さん——たつた三錢の收入の中から、三厘づつ寄附された——とのことを話して下さつたが、私は其のお話に動かされたものです、貴女が尚ほも語を續いで、其の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お婆さんはダン〳〵年がよつて、モウ蜜柑が賣れなくなり、三錢の金も儲からなくなつて後は、自分が貰ふお菓子でもお菜でも皆十分の一づつヨケて置いて、金にされ寄附されたと、語られた時私は實に雷火に打たれました。爾來私は此のお婆さんの如くなりたいと心掛け、やつとのことで、貴女へ御送金が出來る様な幸福者となりました。感謝の悦こびに我心滿ちつゝ此の金を、貴女の尊き御事業へ寄附致します云々〳〵

ジョンソンさんは、此の寄附に接した時、ドンナ　ん。

木曾御嶽山頂上より御來迎（日之出）及淺間山
噴煙眺望白雲恰も海波の如く高山島嶼に似たり

に感ぜられたでしょうか。噫二十年前の種が今芽を出したのである。秋田のお婆さんの精神が、海を渡つて米國の片田舍の驛夫の心を動したのである。

私共は清き事業には、清き援助あることを知らねばなりません。又私共は尊き精神の働きの感化と云ふものは、どこまで影響が及ぶかも知れぬと云ふことを知らねばなりませぬ。

私は日曜毎に、十人の小供をつれて敎會へ行かるるジョンソンさんを見て、尊い婦人よと心で叫ばずに居られませ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

山登りの流行

一記者

之れは歐羅巴での話だが、山を地上の無用物だとのみ思ふて居た考がへが破れかけたのは、千八百三十八年（七十五年前）に、ムレーの『瑞西旅行者の案内記』が出版されてから後のことである。其後尚ほ二十年間は、高山に登ると云ふことは、氣狂の仕事であると云ふ樣に思ふて居る人が多かつたが、千八百五十八年後は山登りが一つの流行となつた。而して歐羅巴の各國にアルプス倶樂部が出來て、競ふてアルプスに登り、單に娯樂の爲めに登るのでなく、學術的の目的を以て登山するものも增へて來た。

アルプス登りが餘りに流行して來ると、冒險家はもうアルプスでは滿足が出來なくなつて來て或は南米に渡りて、其の高山の頂を究めんとするもの、或は又印度に赴きて、世界第一の高山ヒマラヤを探檢せんとするものが出て來た。

ヒマラヤの探檢を始めたのは英人グラハム氏で、氏は千八百八十三年に、ヒマラヤ山中の一高峰カブルの絶頂へ達した、其の高さ實に二萬四千十五呎と稱せらるゝ。千九百九年卽ち今より四年前までは、之れが人間の足跡の達した最高であつたが、同年の七月十八日にアブルウジイの公爵は、同じくヒマラヤ山中の、別の一高峯の絶頂の七百呎下まで達した。其の高さ實に二萬四千五百呎で、今日では之れが足跡の及びし最高點である。

ヒマラヤ山中で一番高いのはエレベストの峯で、之れを發見したのが英國の陸軍大佐エレベストである所から、エレベストの峰と稱さるゝに至つたのである。但しエレベストの絶頂へは未だ人間の足跡が及んで居らぬ。今に飛行機が發達したらば、壓搾空氣を携帶して、やす〳〵エレベストの絶頂へ、足跡を印する樣なことになるであらう。

今では、歐羅巴では婦人もアルプスの絶頂へ登るに至つて居る。日本に於ても年々山登りと云ふことが流行して來て、婦人で富士山へ登るものも增へて來た。何しろ、之れは悅こぶべきことである。

バイロンは『私にとりては高山は一個の感情である』と云つてあるが、實際ソウだ、高山を見高山に登ると云ふことが、平地では味へぬ感情をドレ丈け人間に與へるか知れぬ。私は熱心に登山を奬勵せんと欲する一人である。

新眞婦人社では、此の八月に、婦人の登山希望者を募りて富士へ登山しようかと云ふて居る。希望者が十名以上あつたら婦人の登山團體を組織する考へだから、希望の方は試みに申込で見て下さい。見込が立つたら手紙にて委細御相談に及びます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人脱線論

高野重三

一

松村介石君が先達婦人道の會で、新らしい女を脱線したる女だと罵倒されに、私は之れを批評して見たいと思ふ。旣に松村君へ今日コヽで君の説を批評すると通知して置いたことであるから、遠慮なく批評して見たいと思ふ。

新聞雜誌の傳ふる所によると、新らしき女の中には五色の酒を飲み、紳士淑女の行くまじき所へ行くものがあるとのことだが、若しも此の點を捉へて脱線した女だと云ふのであらば、女でも男でもソンナことをするのは名譽な行爲でないと云ふ意味で、私も其の論に贊成する。さりながら若しも新しい女の議論が脱線して居ると云ふのであれば、私は直ちにソレに贊成することは出來ぬ。一體世の中には新しい議論を脱線と見る癖があるのである。維新の元勳達も維新當時は其の頃の圓熟家から、脱線組と見られて居たのである。松村君にしても、今は圓熟したる老君子であるが、元の松村君は其の當時の圓熟家からは、脱線した人間と見られて居たかも知れぬ。アレ丈けの名を爲されたのは、脱線のお陰かも知れぬ。

二

假りに今の新しい女は脱線して居るとし、其の脱線して居ることが惡いことであるとして考へて見る。縱ひソレが惡いにしても、頭から叱り付けず、其の脱線の原因を調べてから徐ろに忠告するのが、識者の爲すべきことでなからうか。

例へば玆に小供が泣いて居ると假定する。此の場合親が無敎育者であると、いきなりコン畜生と叱り付ける、コウ云ふ風にして育てられた小供は、後ち必ず不良少年になる。けれども親が敎育あり思慮ある人であると、直ぐは叱らぬ、先づドウして泣くかと其の原因を調べ考へて見る、叱るにしてもソレから後に叱る。萬一、敎育もあり地位もある人で泣い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てる小供を直ぐ叱りつける人ありとせば其人は他の事には如何にエラクとも、小供に對する態度は無學な人々と同樣であると云はれても仕方がない。

之れと同じく、其の原因を調べずして、直ぐ新しい女を生意氣な奴、脫線した奴と罵る人は、其人は他の事には如何にエラクても、婦人問題に於ては車夫馬丁と何んの異なる所もない。

三

諸君は日々電車に乘らるゝでしようが、度々工夫が電車の線路を直して居るのを見られたことでしよう。汽車に乘りても、同樣に度々線路の修繕を見られたことでしよう。鐵や枕木の樣なものですら、時がたてば腐敗する、狂ひが出來る、之れを修繕して置かないと、電車や汽車が脫線する恐れがあるのである。

然かるに婦人の走るべき軌道のみは數千年來曾て一度も修繕されないのである。之れでは脫線するのが寧ろ當然ではなからう乎。昔に比べると、今は婦人もヨリ大なる重荷を背負され速力も亦た早やからねばならぬことになつて居る、されば假りに鐵や枕木に故障がないにしても、脫線するものゝ多いのは寧ろ當然のことである。ソコの道理を考へてやらないで、たゞ頭から叱りつけるのは無理である。今の新らしい婦人を叱り付けるよりは、婦人の走るべき軌道の修繕を爲すことが肝要である。今日に適合すべき線路を拵へてやることが肝要である。昔の女大學をすてゝ新しい女大學を作ることが肝要である。

記者申す、右は統一教會にて開かれたる婦人問題演說會に於て、高野先生の述べられたる演說中の數節である、文責は元より記者にあるのです。

▲内ケ崎作三郎先生より　目下山陰道巡回講演中。

御申越の事承諾いたしました。高野氏の演說御誌に御掲載ありて差支はありません。裏日本の婦人の思想と位置とまだ〳〵原始的の點少からざる樣に見受けます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

智識の後見

高島平三郎

一

我儘なる男子の中には、其の品性が低い爲めのもあるが、モウ一つ、其の道德思想の古い爲めのもある。前者に對しては、其の品性の向上を計りてからでないと、我儘なことをすなと云ふたとて駄目である。後者に對しては其の道德思想の進步を計るより外に道がない。例へば、儒教を信じて、女子は劣等なものと思つて居る人に、單に『君は女子を劣等視するから不都合ぢや』と云つて、喰つてかゝつたとて駄目である。コウ云ふ男子に對しては、其人の道德思想の古いこと、信念の間違て居ることから說いてやらねばならぬ。であるから道德の學問、倫理の學問が必要なのである。

世間には『道德の學問をしたとて、道德家にはなれぬ』と云ふて、道德の學問の不必要を唱へる人が多いが、彼等の考は間違ふて居る。成程道德の學問をしたとて、直ぐ道德家にはなれぬ。併し道德の學問をして、其人の道德上の智識が增へると次第に其の人々の行爲が變つて來る、だから不必要ぢやとは云へぬ。智識の後見が入用だと云ふことを忘れてはならぬ。

飛行機のことを習つて來て、習つた通りに拵へると、日本の空でも飛行機を飛ばすことが出來る。ソレと同じく、道德上に於ても、道德上の智識が進步すれば、ソレ丈けのことが出來ねばならぬのであるたゞ違ふ所は、道德上のことは、無形な丈けに、飛行機程、明白に示すことの出來ないのみである。

然かり見せ難いには違ひないが、又全く見せられ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぬでもない。例へば故元良博士の家庭にしても、浮田博士の家庭にしても、安部さんの家庭にしても、乃至は私共の家庭にしても分業的の考へで、男が主人で女は下僕ぢやなぞとは少しも考へて居ないからソノ事がチヤント家庭の實際の上に現はれて居る。

男女の關係に就て進んだ考への人が增つて來て、新らしい男女關係の實際が家庭の上に現はれて來ると、ダン〳〵世間がソウなつて來るに相違ない。

二

園藝なぞも、元は、仲々身分のあるものでないと樂しめなんだのであるが、ダン〳〵通俗化せられて今では大抵な人は樂む事の出來る樣になつて來た。

氷水なぞでも、昔は將軍樣や加州侯でないと飮めなんだのであるが、今は誰れでも飮む。汽車なぞでも、三等がダン〳〵立派になつて今では三等にも毛織物を張り、スプリングの付いた腰掛を備付くるに至つて居る。

斯く或一部に行はれたことが、一般的になり行き、何事も通俗化せられて行くものである。之れと同じく、男女に關する新らしき道德思想も通俗化せられて行くものと考へる。

既にダン〳〵階級道德が廢たれて、並立道德が唱へられつゝあることだから、之れが男女間にも及びて、男女も並立道德で支配さるゝに至ることであらう。

一口ばなし

駒子

男の子「美ちやん、牛乳はビンごと牛から出るの？」

女の子「可笑な人ね、そんなことはないのよ」

男の子「だつて玉子はカラごと出るぢやないか」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

談話室

ホントの夫婦ぢゃない

趣味の高い低いは、暫く別問題として、兎も角も、夫婦が仲よく暮せて、夫が外で快樂を求むる必要を感ぜぬ樣であれば、ソレはホントの夫婦です。

夫が外で快樂を求めたがる樣なのは、夫に缺點のあるのは無論であるが、妻たる人にも缺點がある爲めだと思ふ。ソンナ夫婦はテンで夫婦になつて居ない。此の夫婦になつて居ない夫婦の家庭位不幸な家庭はない。

家庭の趣味を高尚にせなくてはならぬのは、無論であるが、ソレは第二の問題で、第一の問題は夫婦の和解です、夫が外に快樂を求むるの必要なきことです、之れなき夫婦之なき家庭は、夫婦にも家庭にもなつて居らない。女が強くなられば、男の品行が直るものでない。自制心の強い少數の君子の外は、女が默つてハイ〱云ふて居ると、何をするか知れぬ。けれども亦、女は自から、夫は何が不足で遊びに出て行くかを考へ、自分の盡すことの足らざる點をも、反省して見なくてはならぬ。（向軍次氏談）

不都合なる夫人達

夫の洋行中に、夫の月給全部を自己一身の快樂の爲めに消費して、何等將來夫に關する事、自己の修養の事、母となつてから必要なる智識を修養すると云ふ樣な事に費はなかつた婦人があります。

又橫濱の社會研究をしてゐる人から聞くと、ソレは〱ひどひ生活をして居る婦人がある、トテもお話は出來ぬ。その中では善い部の方にコンなのがある、夫の務め留守中即ち朝八時から午後の四時位まで、夫人同志で面白い事を出來る丈けして遊ばうと云ふ會があつて、互に往來して御馳走し合つたり、心ゆく遊びをして夫の歸る前に歸つて居るのだ相です、自己一身の快樂を本位にして考へるとコンな事にもなる。婦人界の先覺者は、コウ云ふ婦人界の惡風を改めることに力を致さればなりませぬ。

（安井哲子女史談）

生活と藝術と事業

私なんか生活と藝術と事業とは到底一致出來ないものだと思ひ、しよつちうそれで煩悶します。藝術の爲に全生命を注いだ樣なものがかきたいと思ても、ソンなものは月に幾つも出來る筈がありません。所が外から頼まれて、かきたくないと思つても、そこに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生活があるものですから止むを得ずお約束する、ツイすゝまなくて、編輯の日限が來ると致し方なく夜明ししてかいたりして、やう／＼原稿を取りに來られて渡して了ふと、作品が出來たと云ふ喜しさより、マー荷が下りたと思ふ丈けですから本當につまりません。自分一人のつまらない智慧や狹い人生觀で考へてゐると自分はどうすればよいか解らなくなるのです、死で仕舞ふより仕方がない樣に考へられる位に。だからたまには先輩の處へでも出かけていつて相談をして、啓發されたいと思ひます。私なんか兩面生活ですから本當に苦しいんですわ。家庭の事にいろ／＼勞力を費されますから、一層一人で部屋借りでもして一方面になればよいがとも思はれます。兎に角少し讀んだり考へたりしないと、頭が空になつて了ひますから、モー一切かくまいかとも思ひます（田村俊子女史談）

存外着實な女優生活

私は自分の眞の努力によつてあるものを握りたいとのみ思ひます、實際がなくして虚名を得るのは恐ろしいと思ひます、だから周圍の人はもどかしい樣に思ひましやうが私は決して急がないのです、私は浮いた考へで自分の跡を眞似る人が出來ては困ると思ひますから、學校の校友會などからも退會した位です。大阪などへ參りましても女優になりたいなどゝ云つて來る人が、私などに實際面會して話を聞きますと、想像にはづれて居てがつかり致します、花々しい浮いたものゝ樣に思つて居たのが、意外に眞面目に着實なのですから。

私は大阪の高等女學校を卒へて女子大學へ這入り、所謂士族の教育を受けて居りましたので、三味とか踊りなどを罪惡位に思つて居ましたから、女優になるなどと云つた時は親戚知己から非常に反對されましたが、今日では親戚知己が、私どもの實生活を見まして其豫想外なのに驚いて居ります。

文藝協會では眞目面に研究して進んで行かうと云ふ方針ですから、ソンな目的に添はない人は、其人の爲めにも協會の爲めにもなりませんから、說き諭して止めさせた方も尠なくないのでしやう。解散してからも會長がない丈けで、そのまにして行くと云ふ事は難かしいでしやう、何れ同趣味の人の寄り合ふのは當然ですが、中々坪内先生の樣な人格の全き方ならばこそ今日までは、統一も出來た樣なものゝ。坪内先生は個人／＼に就ても深く考へて御世話をして下さいましたから、私どももつひ依賴心を持ちますから、一層今度の樣な事があつた方が、眞に自分と云ふものを考へまして幸福かも知れません。私などとても天分もなく出來ぬと思へばいつでも止めますけれど、まだ何にせよ、少しもしないのですから、兎に角やれる所までやつて見やうと思ひます。（林千歲女史談）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子職業論

吉岡彌生

よく婦人が職業を持つて居ると云ふ事は家庭に不都合ではないかと聞かれるのですが、私はいつもさう申します。會計には會計、料理には料理とソレ〳〵適當な人を頼んでおくから、自分で一々事に當るよりは遙に宜しい。人は責任を思ふものですから生じつかあれこれと世話やくよりは任せておく方がよろしい。

又一つには婦人が職業を持つてゐると云ふ事は子女の教育の上にどうかと云ふ人があるが、これも私は婦人が職業を持つてゐる方が子女教育にはよいと思ふ、凡てよそに出ても子供をどう云ふ風にしたらよいかとたえず研究心を以て見てゐるからよい。今一つ夫が妻君や子供を食べさしておると思ふと自然母親を馬鹿にする。父がソレだから子も母親を馬鹿にして父に丈け内密で〳〵と能く云ふ事を聞く、それが母親も職業があり收入があれば父も尊敬するから、子供も自然尊敬する。尊敬してゐる母親の云ふ事が聞かれないと云ふ事がない。だから教育の上に大變都合がよい。

能く世間には三四人も女中を使つて居るが、私が目が離されぬと云ふ奥さんがあるが、私はをかしい私は用事があつて三四日留守にしても内の事は一切心配がない。醫員などでも留守中に粗相があつてはと云つて一しほ注意をする。

又世間の人は婦人が職業をすると云ふ事は夫が役にたゝぬからとか、生活に困るからとしか思はぬ。私はソウでなく、どんなに夫が立派でも家が富んで居ても職業を樂しんでする様にならなくてはなら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぬと思ふ。

戸野みち子と仰しやる方は、夫君は東京府教育學務課の方であり、お子さんも七八人もおありになるのに、やはり中村高等女學校の校長をして居られますが、實に感心でソウなければならぬと思ひます夫が五六十圓の月給でも取れば妻君は遊んで居やうと云ふのでは經濟が困しい筈です。

私は職業に對しては非常に愉快で堪りません。少々位頭痛のする時でも仕事にかゝると忘れて了います。

女學校の女教師などでも眞に好きで善い仕事だからしてゐると云ふ人がどれ丈けありませう。愚痴をかこちながら教へて居る樣な事ではとてもよい感化はない筈です。

▲立とうとする小供を、立つなと叱るよりは手をとりて、立つのを助け、歩いよをさせるのが親心でしよう。

戀の名だて

柏　女

かぞこひし　いろは戀しや
妹こひし　いろせこひしも
友こひし　物のあはれは
これよりぞ　おもひしろてふ
戀の名を　美しき聖けき
久方の　天津國生の

うつし夛を　しばし宿せる
胸かゝみ　めでいひつ
たゞへよびつゝ　いつの世の
誰が言よりか　大方は
たゞよのなかの　ことになしつる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

十四の戀

露子

中村正がまだ異性と云ふものを思ふ餘裕のない、勉強盛りの中學時代であつた。築地のミッションに宣教師の説教を面白半分に聽にいつた時通辯をした柳と云ふ男の妹さんが來て居た。正が此少女を始めて見た刹那、思はず電氣に打たれた。天來の響に接した、インスピレーションを受けた。

正は未だ曾て將來娶るべき女と云ふものに就て考へた事はなかつた、けれどもこの少女を見た時、この女こそ終生自分の半身たるべきものだと感じられた。その時少女はまだ十四歳で名を絹子と云つた。日曜毎に逢ふ機會を重ねて二人は遂に婚約するに至つた。「まだお互にこれから勉強しなければならぬから成業の後十年を期して結婚する事にしやう」と誓約した。

まだ種痘の普く行はれて居ない時の事で、絹子は不幸にも天然痘に犯された。美くしくきめの細かいふつくりと艶々しかつた、白い桃の花の樣な顏に、蜂の巣の如き孔が一面にうがたれた。然も意地惡く深く大きいのが無數に、剰さへ頭髮さへぬけそゝけて!、

十四の春の面影はどこにも見られなくなつたが十年後に、正は約束を重んじて結婚した。

その後六年の間に三人の子を産けた。上の二人は男の子であつたが、三番目の子は女の子で、玉の樣な可愛らしい美くしい子であつた。

愛子と命名して父はこの上もなく愛した。愛子がやゝ長じて八歳になつた頃には、男女の區別のない小兒の境を越えて、娘らしい美さへ加はつた。それと同時に十四歳の時の母の面影に髣髴として來た、絹子を初めて見た當時のまぼろしがまざ／＼と正の眼に映じた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

絹子は病氣の上に世帶の苦勞にやつれ、手までも荒れて、昔の面影は見るかげもなく失はれた。正は其の長い〳〵年月失はれて居たあるものを始めて娘によつて授けられ滿された。

正夫婦は喧嘩をすると云ふ事はない。平穩無事な家庭ではあつたが、決して密の樣な溫かさに充されたと云ふのでもなかつた。相語るのも食事時と夜丈けであつた。處が正と娘とはこの上なく親密で、父は娘を戀人の如くうれしくなつかしいものに思つたそして絹子の今は失せて見られない若き日の面影を娘によつて偲ぶよすがともした。

愛子は十歲になつた夏、ふとジフテリヤに犯された。絹子は『私が看護いたしますから貴君は太郞と次郞とを連れて避けて下さい』といつたが、日頃から親密である父正は、こんな場合どうして病める愛子を避ける事が出來やう。

『愛子はお父さんが看護するから、母さんは太郞と次郞と下宿して學校に通はす世話をするがよいと云つた』

正は寢食を忘れて、ある丈けの心を盡して娘を看護した、然しもはや神の愛護を受けられぬ愛子には父の心盡しも何の甲斐もなかつた。

美くしくパッチリとした。眼は再び開かず、愛くるしい口も永遠に閉ぢて了つた。

正は悲しみの餘り一ケ年ばかりは每日〳〵娘の墓詣でのみして居つた。併しいつまでさうばかりしても居られない、正も長い間打捨てゝおいた研究をつゞけねばならぬ事となつた。神學、哲學の學術的研究に時間と勞力とを奪はろゝ事となつた而していつとはなく娘の事も薄紙をはぐ樣に日々に忘れつゝあろかと思はれた。引つゞき二人の娘が生れたけれども、長女を亡した寂寞は到底癒やされなかつた。

正が五十の時妻の絹子もヂフテリヤに罹つた。此世を辭さうとする最後の瞬間に、やつれ果てた妻の面影に、正の若い血をそゝつた十四の時の小女のまぼろしがフト浮んだ。同時に先年亡した十歲の長女

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の幻も。

二十年來つれ添ふて來た妻も亡くなつた。

朝に夕に正の眼に映つる絹子はやはり十四の時の戀人である。

可愛い長女も、戀人であつた妻も亡くなつた。今は正はやる瀬ない寂しい思ひに暮しつゝあつた。

或日公園を散歩して居つた正は、妙齡の婦人に逢つた。その令孃が如何にも先妻の十四の時によく似て居つた。正は熱愛のあまり、其の令孃と結婚するに至つた、それは息子の嫁にしてもよい十八の乙女であつた。

先妻の子供等は父の此結婚を面白からず思つて家出して了つた。

後妻の露子にも小供が產れた。最初の間は夫婦中もむつまじく、正は先妻と娘とが一時に蘇生つた樣な氣分で他愛なく愛くしんだ。

然し時々、正は先妻と婚約當時から結婚するまでに取かはした戀文を取出しては露子にそれを讀ませては、自ら聞いて喜んだ。

露子は夫が自分を愛するのは先妻に似て居るからだとおぼろげに知るに至つた。露子は自分に對する正の愛は、たゞ先妻のかはりとしてであると思ふと不愉快でたまらない。

正は十四の絹子が忘れられない餘りに、病後の醜い絹子とも結婚した。母の若かりし日にソックリの娘をもこの上なき者に思つた。又露子も十四の絹子の面影があつたから後妻にした。相手は三度も變つたもの丶、終始一貫して十四の絹子の初戀のまぼろしをのみ憧れて居たのである。

正は病んで今やこの世を去らうとする瞬間に知つた。今日まで只思ひに思つた。絹子の十四のおもかげはほんの空想に過ぎなかつたことを。

而して老後の醜き絹子、世帶に疲れし絹子の老いて益々忠實に、自分の爲に盡した、情に眞の戀があつたことを。正は又、無情、無感覺、無意識に過ごした、二十年來の絹子との同棲時代を顧み、深い〳〵追想を繰り返したのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本女性史（四）

新眞婦人社編

五　徳川時代の女

前にも述べた通り、戰國時代に於ては婦人を隨分極端まで輕視したものであるが、併し時代が野蠻であつたので、或點に於ては又頗ぶる自由な所もあつた。けれども徳川時代となつてからは、悉く儒敎の議論で婦人を律しようとし始めたから、女の窮屈さは非常なものとなつた。

家康の先妻月山殿は、今川家から來た人で、家康より身分が上、年も亦た上であつた。家康は此の婦人に非常に困らされた。其の上に二代將軍秀忠の夫人淺井氏は、才色兼備のエラもので、秀忠を丸めて、思ふ存分なことをした。二子、竹千代、國千代の中、弟の國千代を愛して、長幼の序を紊して、之れを三代將軍としようとした。ソコへ有名な春日の局が出て來て、家康に訴へて竹千代を立てたが、之れにも家康は非常に困らされた。ソコでつく〴〵考へて、婦人は壓へねばならぬ、婦人を跳ね返へらしてはいかぬ。と決心したのであるらしい。家康には右の樣な辛い經驗があるので、儒敎の婦人觀に心から敬服し、其の議論の通りに婦人を律し始めたのである。

されば徳川時代に出來た女訓なるものを讀で見ると

△十歳よりは一切外に出さず（和俗童子訓）

△敬順の二字を婦人に敎ゆるを主眼とす（女學範）

△夫は譬へば君の如く、女は猶ほ從者の如し（女實語敎）

△夫婦爭ひ怒ること勿れ、理を枉げて夫に事へ（同）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△女は地獄の使なり（同）

などと書いてある。コウ云ふ思想で女を縛つたものであるから、女は全く人形同様、死人同様になつて了つた。ソコで結婚の仕方なども、今から見ると隨分無茶苦茶と思はるゝのが多い。

試みに此の時代の結婚奇談の一二を紹介して見ましようか。

まだ腹の中に居る子にチャンと嫁入先の約束の出來て居た話があるし、結婚式の當夜嫁御寮が綿帽子を取るまで、お互に如何なる人と夫婦になるのだか少しも知らずに居た話があるし、或大名は婚儀の晩に嫁御寮の顏を見ると、思ひも寄らない醜婦であつたから『あんな化物はいやぢや』と言つた切り再び奥方と顏を合せなんだと云ふ話があるし、又或大名は醜い上に驕慢な公方の姫君を貰つて『奥方の前へ出るのは敵人の前へ出る樣な氣がする』と愚痴を云つたと云ふ話もある。更に又上杉鷹山公は、上杉家へ養子に行かれたのであるが其の奥方は不具の女で、一生子供の如くあつたので、鷹山公は何時も奥方と對面する毎に、人形などを見せて奥方を悦こばせられたと云ふことである。

鷹山公は聖人であつたから、右の樣な無意義な結婚をしても、事なく濟んだが、普通の人にあつてはソウは行かぬ。女を幽閉し、壓制して人形の如く、死人の如くした、而して此の死人の如き女と形の如く結婚して見たが、さて少しも面白くない、ソコで男子は自然に放蕩になつた。之れ德川時代に淫賣婦の繁昌した一大原因であると考へる。

今日でも放蕩者は、之れと同じ論法で、藝者必要論などを唱へて居る。而してコウ云ふ男に限つて、家庭では妻君を極端に愚にして居る、私はコウ云ふ男子に向つて斯く云ひたい。

女に自由を與へよ、女を尊敬せよ、さらば女は活

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發になり、話せる樣にもなるだらう、ソウなれば、諸君は藝者と遊んだりする必要がなくなるであらう。諸君若し茲に氣が付かずして、家庭では奧樣を愚にしヒステリーにして置いて、面白くないと云ふては藝者遊びなどをして歩いて居れば、ソレは諸君にも亡びの道であり、奧樣にも亡びの道である。私は諸君に反省を望まざるを得ぬ。

序手だから尚一言しておきたい。當時は素人の女の中より喋べる女、華やかな女を見出すことが出來なんだので、止むく淨瑠璃では遊君をモデルにしてある、但し遊君をたゞ出して來ては當時の貞女思想と衝突するので、親や夫の爲めに遊君となつたと云ふことにして出して來てある。多くの人々は此の由來を知らないで、たゞ無邪氣に、淨瑠璃や芝居で遊君を見たり聞いたりして感動し、ソンナ考へで實際の遊君をも見るに至つた。其の考へが今も殘つて居て、藝者、娼妓、淫賣婦でも、ソンナ風に見やうとするものが尠くないからを可笑しい。

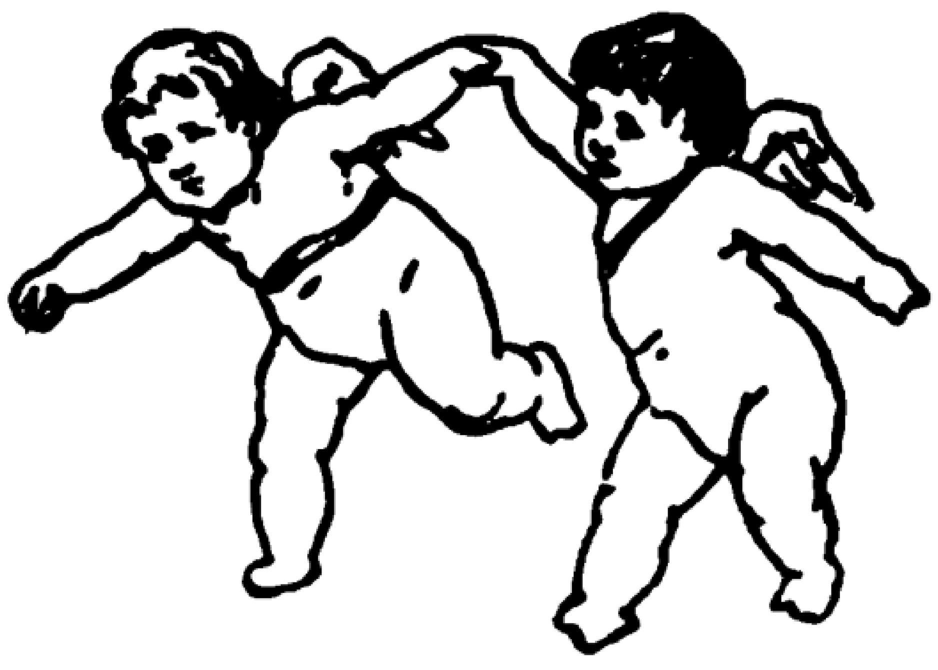
江木博士談片

▲女はもの丶分らぬ樣に云ふが、實は今日では婦人の方がよほど分つて居る、代議士などにはさつぱり分らぬものが多い。丸で小供でも相手にして居るつもりならばつまらぬ話でも出來る樣なもの丶、學問上の話とか西洋などの話をした處でさつぱり分らぬ。だから法律とか政治とかの本をドウしても趣味ある樣にはエー寸書かぬ、西洋には一般に誰にでも讀める樣に面白く法律や政治の事を書いた書ばあるが。

▲女子教育家に女子に高等教育をするのは何の目的であると聞くと今日でもやはり良妻賢母を作る爲めだと云ふ、良妻賢母丈けならば何もソンなに種々雜多な難かしい學問が入るものか、他日女子も參政權を得なければならぬから、その準備の教育だと云へばよいのに、現代の父兄の望みにあふ樣にしか思つて居ても云はぬ。

▲偉大が欲しければ、苦痛を忍ばねばならぬ、
偉大なる者には負擔がある（シヨー氏）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



オキシパサー

（酸素療法）

一記者

■口では日進月歩の世の中と云て居ても、ホントに日進月歩の世の中であると感じて、拔目なく新發明を採用して行く人は少ない。人間は存外保守的なものである、ソコで新らしき發明は、ドレも其普及に澤山の年月を要して居る。私共は此の缺點に氣づきて新らしき發明品に目を付け、充分研究をして、分たらば、人に先立ちて夫れを採用するの人となられればならぬ。

■病氣治療の上に於ても、種々の有益な發明があつて、オキシパサー卽ち酸素療法だの、ラジユム療法だのが、我國にも這入て來た。然かるに前に申した樣な理窟で、新らしいものには一寸手を出さぬ人が多い樣である。私共は早くコウ云ふ謬見を打破して、病氣の上に於ても早く新らしき發明の恩惠を受ける人の多くなることを望みますから、本號より『家庭衛生』の一欄を設けて新療法の色々を研究の上紹介したいと思ふ。第一にオキシパサーを紹介します。

■血液は斷えず、體内を廻つて養分を供給し身體各部の磨損を補ふと同時に、其の一面に於ては分解作用を起して、體内各所にある老廢物又は有毒物を、各組織から引き離し、肺、皮膚、腎臟等の排泄機能を藉りて之を體外に排泄して、新陳代謝を營ませるものである。又血液の中には血清といふものがあつて、之れが常に抗毒素を作り、之れと白血球の食菌作用に由り、凡ての病素菌を撲滅するものであつて、其の作用の大なる事は今更喋々するを要しない次第である。斯樣に血液といふものは、吾々の生活上並に疾病治療上實に偉大靈妙な作用を有つて居るものである。併しながら時に血液の此の作用が弱ることがある、病氣は大抵其の時に起るのであるから、若し斯かる時に血液の作用を旺盛ならしむることの出來る器械が發明されたならば、凡ての病氣を治療し得るに相違ない。而して血液の作用を旺盛ならしむるの道は血液の酸化を促すより外にはない、と考へ、樣々に工夫して發明されたのが、オキシパサー卽ち酸素療法である。

■私共が海濱に行つたり、田舍に行つたりしたときに、心地がよく、又病氣も癒えたりするのは、主として都會の空氣よりは、田舍や海濱の空氣が清くて、血液を酸化すること多いからである。之れから考へても、成程オキシパサーは善い所へ氣を付けたもの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

だと云ふことが分る。

■ソレにオキシパサーの構造は、分極器と治療圓盤（身體との接觸を密接にする爲め彈力に富むゴム帶を附着してある）及び分極器と治療圓盤を連結する線紐とより成る、極めて簡單なもので、携帶に便なるは勿論、使用の方法も説明書を見れば直ぐ分る、價格七十五圓、少し高い樣ではあるが、其の代はり十五年間位はイクラ使つても、其の使ふ度に入る費用は分極器を冷やす氷代の外は、何んにも入らぬとのことである。田舍などでは氷の代りに冷水を用ひてもよいとのことである。水で濟めば全く金がかゝらぬ。

■オキシパサーで病氣を癒すことが如何に經濟で、且つ簡便であつても、若しも之れに危險とか苦痛とかゞ伴うて居ては考へものだが少しの危險も苦痛も伴はぬのぢやから面白い。否私共の知人で、オキシパサーの効力を試驗して居る或お醫さんの言によると、オキシパサーを使用すると、患者は皆始めから終まで快感を覺え、中には餘りに心地よくなつて眠り、少し尾籠な話だが、眠り過ぎて知らずに大便を洩らす人さへあるとのことです。

■オキシパサーで凡ての病氣が癒るのであるから、何人もオキシパサーの恩惠に浴し得るワケではあるが、殊に婦人と小供には之れが必要である。何せと云ふに、婦人は局部が病氣の場合には醫者に診察して貰ふには、是非ともイヤな思ひをせねばならぬが、オキシパサーがあれば、ソンナ思ひをせずに濟む。小供は大抵藥を飲むのをイヤがつて困るものだが、オキシパサーがあれば、飲ます必要がないから困りはせぬ。又田舍で醫者へ遠いような家庭に於ても、オキシパサーが一つあれば夜中急病人が出來ても狼狽せずに濟む……

■東京には既に知名の人で、オキシパサーを使用して居る人が、大分有りますから、次號には實際使用して居る方をお尋ねして、其の實驗談を掲載することにしましよう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

八ッ岳山麓農場日記

吉川たみ子

この雜記は此農場の後繼者又はわが子等に書き遺して置くために暇々に、走りがきしたものであります。

明治三十七年三月二十日は、私等が多年の志を實行すべくこゝに着した、うれしい日である。良人の事業の基礎が固まるまで資金を仕送るためとて、十四才と十才の女子二人を連れて任地に留まられたので、此度の事業は夫の指揮監督のもとに私が主任となつて、萬事經營する都合である。私には身に余る重任である人も住まぬ山奥に女や、子どもばかり移住して慣れぬ農業に身を委ぬる、その苦勞や艱難は元より覺悟ではあるけれども、よく夫の旨に叶なひ、志を遂げるだけのわざが出來得るであろうかと、決心をするまでには幾度も躊躇した。しかし一家の事情がそれより外に許さぬので、私は決心して良人の命に從つた、一體私は男子を捕へて小さき家庭の人としてしまふのはまことに其人に氣の毒なことだと思ふて居るので、不正不義でない以上は、何でも自由に任せておき、自分はどこまでも服從して行くといふやうにして居る。今迄から隨分思ひ切つた冒險な事などもさせられて、辛い目に遭つたり苦しい境遇を通つて來た。此度のことは自分も望むところでもあり、前きに充分の見込も立つて居るので、生涯をこの道に献げようと強い決心をした。農婦に必要なき絹の衣類は殘らず賣却して、資本の一助とし木綿着物も皆筒袖にしてしまつた。書物も賣つたり朋友や生徒に紀念として贈つてしまつた。老婆も贊成して下さつた。世間では若い者が新事業などを企てると、先づ老人が故障を言ふものであるけれども

私の母はそんなむつかしい人でなく、何でも若い者の自由にまかされるのが常であつた。此度も直ぐに賛成して一處にその新開地へ行かうと言はれた。一人の姪これも共に働いて事業の成功を期すと自ら望んでついて來た、子供を合せ八人の家族はこゝに理想の新生活を開始するのである。

こゝとは卽ち甲州八ヶ岳の南麓海拔三千尺の高原である、見渡す限り茫々たる原野、四方何れも二里ばかり行かねば一軒の家もない、無人の孤島へでも流されたやうな氣がした。風景は非常に佳い、後ろは八ヶ岳の雄姿を見るべく、前には富士山の美容を仰ぐべく、東南は開けて峽北一面を眼下に望む。清水至る所に湧き出でて泉となり、瀧となり。川となりて周圍をめぐる、まことに一の仙境ともいふべき別世界、この大なる自然の景色に抱かれて、おのが理想を行ひ得るかと思へば、ふかき御惠みと一同は草の莚に跪づきて感謝の祈禱をさゝげた。

神樣大なる御惠みによりて、こゝにこのよき地を與へ給ひしことを深く〳〵御禮申上ます。私等にこれより身も魂も献げて神の御榮のために一生働くことを得させたまへ、失敗も成功も皆御こゝろに御任せ申上げて、安心して業務にいそしむやうになさせたまへ、いまだあなたを知らぬこの土地の多數の人々を導いて、あなたの御そばに連れ來らしめ給へ、危險多き此處に於ける我等家族一同を御守護によりて無事ならしめ給へ　アーメン

地所は三町歩計り、これは御料地で開墾地として許可されて居る。昨年來土地の世話人に交渉して拜借の手續きをして貰つたので、外に村人の所有地も少々買ひ求めて、總計四町歩ばかりになる。わざ〳〵移住して事業を始めるには少し狹いやうだけれども以前千葉縣で大規模の農場を計營して見事に失敗した苦き經驗を有する私等は、此度は極小く固くやらうと、思ふのである、又資本も前の時に財產も殘らず費してしまつたので、此度はほんとうに僅かのもので取りかゝる都合で、何事にも心を小くして居るのである。昨年十月から人夫が多勢はいつて開墾を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して荒起しだけは大概すんで居る、これからは土を碎き畑にして苗木を植ゑ込むのである。この人夫小屋の外に新らしい小屋が一棟用意してあつた、これが私等家族の住居する新室である。屋根は熊笹や茅を雜せて葺いて周圍も同じやうなものでかこふてある。入口には戸が一枚はめて蔓葛で縛つてある。室の中央に大きな爐が切つてあつて煮焼の用に備へられてある、草の庵に柴の戸とは、ほんとうにこれで、かつて讀んだ方丈記そのまゝの有様である。こんな山水の背景の處にはこんな家こそふさはしいもので、一しほの趣味を添へて面白い。荷物は家の建つまでと悉皆下の村へ預けて、差當り必要のものだけ馬に運ばせた、炊事の道具と夜具と戸棚一つと、戸棚を爐の側に置いて一方には茶腕の類一方は硯箱や紙本の類といふやうに一つを何もかも兼用にし、蒲團は隅の方に積んで毛布を掛けておき、板を一枚上から吊して棚をこしらへて置く、これで生活の機關が整ふた、實に簡易なものである。私等は常に主義とする簡易生活をこゝに實行するのである。

三月廿五日着してから家を整へたりいろ／＼で五日間かゝつてしまつた。今日からはいよ／＼お百姓の仕事にかゝらうと思ふ。老母に火の用心をたのんでおいて一同畑に出た、服裝いまだ適當のものがないので、木綿の筒袖に學校時代の古い袴を着けた。子供には股引を穿かせ、足袋跣にして皆勞働に便利よい支度で出た。

春とはいへど山奥の事とて、谷や木の間にはまだ雪が消え殘つて居る。見れば八ケ岳は山頂眞白の雪を戴いて居る。身にしむやうな寒風が時々山からおろして來る。勿論草も青まず春景色はまだ少しもない、東京では、もう櫻の花も見頃であらうにと「深山には松の雪だに消えなくに」の古歌の意など思ひ合さる、私等の仕事は人夫の堀り出してある草の根や石ころを畑の外へ持ち出すので、なか／＼骨が折

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れる、子どもらも大きな笊にそれらを入れてせつせと運んで呉れる。人夫は聲かけてまあ、ゆつくりおやりなさいませうと、いたはつて呉れる。道行く人や山人は海老茶袴のお百姓など、冷笑かして通る。その内に子供は何處かへ行つてしまつた晝の合圖にブリキ板の鐘がひゞいたので、一同内へ這入つた、これまでの例として炊事は人夫が交代にして居る、内のは母上がして下さつた。勝手元にも大きな瀧が落ちて居るので、まことに樂にお勝手が出來る、これからは私が炊事をして一同に食べさせようと思ふ。人夫小屋には大きな釜や鍋に湯氣がたつて人を待ちうけて居る。人夫等は内へはいるや否やものも言はず直ぐに箸を下して食べて居る。朝早くから働いて居るので食事を待ち兼ねたのである。私等も自分の小屋へはいつて食べた、働く人には、まづいものなしで麁末なものだけれどもほんとうに、美味しい、こんなにおいしい御飯をいたゞいた事はない、勞働の賜ものである。子供は何處へ行つたのか、お晝も忘れてまだ歸つて來ない、暫く休んでまた畑へ出た、人夫等も出て來て鍬をふり上げて居る。子供が驅けて來てお母さん〳〵來てごらんとしきりに袖を引くひかるゝまゝに行て見れば、河原に大岩があつて面白く丁度家の座敷のやうになつて居る。女の子はそこで小石や木の葉を集めてお客ごつこをして居る。男兒は川へはいつてヤマメ魚を捕へて居る。此川には、ヤマメが澤山居るので村の人も時々釣に上つて來る、水を他の方へ流して置いて石の下などへ手を入れて捉まへればよく捕へられる、五六匹も捕つて居る面白い遊び場である、子供もこんな處で自然の物を友として遊んで居れば、よき品性を養ふことが出來るとよろこんで、連れて歸り御飯を食べさせ、また一處に仕事をして四時頃内へ這入つた。

（つゞく）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

松井須磨子論

西川文子

（一）

松井須磨子論と申しましても個人としての松井須磨子さんを論ずるのではない。今後の社會では、女優に限らず、銀行、會社、鐵道、商店、新聞社、雜誌社等に務むる婦人の數が次第に多くなる。從つて男子の間に立ち交じつて働く婦人が增える、ソコで自然松井須磨子さんの樣な問題にブッかる者も增えて來ます、されば之れは松井須磨子一人の問題でない、一般婦人の問題として是非考へなければならぬ事であると思ふ。

（二）

四五日前の東京日々に、須磨子さんの談として『ほと〳〵男子の嫉妬深いのには閉口しました、又男優のみの間に女優が一人居ると淀君〳〵と云ひます。淀君は妾ではありませんか、いやな事です、出來得るならば田舍に歸るか、兄の家の菓子屋の手傳でもしたいが切角漕ぎかけた船だから漕げるまでこいで行きたい、女は柔順であれば男の云ふまゝになるものと心得て居る時代が憎らしい。女でも幾らか智力のある感情の人間ですもの、男子の云ふまゝにはなれません、美くしい藝術的生活を戀ふにつけても男子に對して強くならねばならぬ、反抗しなければならぬとつく〳〵考へます』とかいてあつた。

私はすま子さんに非常に同情する、自分を知るものは自分で、自分ほど自身を愛するものはない、藝術生活に生きやうとか、何か研究しやう、向上しやうと志すものが、希望を捨てゝ自からつまづきを求めると云ふ樣な愚な事をするものではない。さ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れども社會は誘惑とか嫉妬とか猜疑とかに滿ちて居て、苟も女が男に交じつて事をすると直ちに曲解したり、誤解したりする、だから今日では女が獨立して男子の間に立まじつて事をして行かうと云ふにはどうしても須磨子女史の云ふた如く反抗的態度に出なければならぬ。今日の男子の多くが、柔順で女らしいのを好むからとて、女がおあつらへ向きの、優しい溫順な丈けであつては、どうしても躓かざるを得ない破目に陥る、だから現狀のまゝではどうしても婦人は反抗的に向はねばならぬことになる。

併し女が男に反抗的でなければならぬと云ふ事は女も不愉快であり、男も決して好い心持ちはしない。けれども面白くないからとて從前通りでは居るワケには行かぬ、どうも今日の樣な過渡時代に於ては、一時女が反抗的となるのは實以て止むをえない事であるらしい。婦人が男子に對して反抗的の態度を取る時代が暫らく續いて多くの婦人は、強くなり男の望む、たゞ優しい柔順でありさへすればよいと云ふ女がなくなつたら、男は自然優しい女でないと駄目だとは云へなくなる、ソコで眞の價値ある確かりした、男子と同樣に水平線の上に立つて事の出來る女を望むと云ふ所へ進む、ソウなれば眞に男女相並んで相助け合ふ事が出來る、婦人の進歩はやがて男子の進歩であり、社會全體の進歩である。

私は須磨子さんの事件の如き事ある每に、婦人は婦人に同情して婦人の位置を確實に高めて行かねばならぬと思ふ、若し世間の評判が事實であるとしても、島村氏こそ妻帶してゐる人であれば、獨身の松井すま子さんを責めるよりは、公平に云へば島村氏をこそ重く責めなければならぬ。それに新聞でも社會の制裁でも男子に輕く婦人に重き責任を負はせやうとする。すま子は只の婦人でないの、淫婦であるの、妖婦であるの、甚しきは生理的に姙娠しないのとソンな攻撃までする、その通り男子が婦人を責

めるのに、一般女性までが同性の勝利成功と云ふものを嫉んで、やはり惡い方に雷同するのは殘酷の至り、愚の極だと思ふ、私共婦人は飽くまで同性の爲めに同情して公平でなくてはならぬ。

（三）

黒岩涙香先生は婦人評論紙上で、須磨子さんの事件を論じ、『是からの勤務婦人は、絶對に夫を持たぬと云ふ獨身主義か、早く夫を持つか、若しくば墮落するかの三つしか仕樣がない。而して夫を持つには、同職業の夫でなくてはならぬ。ソウでないと家庭を持つて見た所でトテも平和が保たれぬ、ソウ云ふ夫は容易に見付からぬ。又墮落する方は永劫浮ぶ瀬がない。ソコでどうしても絶對に一夫にも見えぬ覺悟がいる。社會はどうしても何時になつたら改良が竣工するかの見込がない、だから當人〱の覺悟が必要だ』と云はれた。

尚ほ同じ文中に『女の一擧一動が誤解の眼の爲めに曲解せられ、一度び笑へば人を招く謎だと思ひ、笑を受けたものは密に喜び、傍觀したものは、或は競爭心を起し、或は嫉妬の情を生じます、ソコで色々面倒なことになるのであるが、若し婦人に一夫にだも見えぬと云ふ覺悟が充分あれば夫れが自然外にあらはれて、誤解や曲解の入來る餘地がなくなつて了ふ』と論ぜられたが如何にも御尤な議論だと存じます。

併し私は黒岩さんの論に對して、第一に社會の現狀を改良する見込がないの、何のと云ふのは、少し心細い事を言ひ過ぎた論だと考へる。私は何所までも、私共銘々の努力議論實行に依つて歩一歩づつ社會を進めて行くことの出來るものと信じて居ると云ひたい。

第二に黒岩さんは一夫にも見えぬ覺悟が一番よいと云はるゝが、イクラ意志が強よくても、獨身で居れば曲解されたり、誘惑されたりして心苦しいことが多いと云ひたい。成程獨身で居れば人氣があるとか引立てられると云ふ、一寸花々しく便利である樣なこともあるが、その實ソンな浮いた同情者、應援者は身を誤らせる本となるばかりである、だから獨身は考へものであると云ひたい。夫があると云ふ事は誘惑をさけ、誤解をさける上に力あるばかりでな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

く眞に藝術とか天才とかを愛する意味からの應援者を得るの妨害とはならぬ、然し夫が同趣味同理想同職業の人而かも廣い心の人でなくてはやはり平和を破ぶるからどうしても同職業の夫を持たねばならぬ事になる、例令ば松井須磨子さんに對して、林千歳さんの如く、上山浦路さんの如く夫も子供もある樣な女優で而かも夫も同趣味であつたとしたらば、外からは誘惑もなく内家庭には平和を紊すと云ふ樣な事もなくて、理想的に行かれたであらうと思ふ。

婦人が何かしやうと云ふには、獨身でなくては都合が惡いと云ふ人の多いのは、一は婦人は夫を持てばたゞ遊んで居て生活すべきものだと云ふ觀念があるにより、二には夫も妻に職業をさせると云ふ事を恥辱の樣に考へて居るからである、獨立職業と主婦生活とは必ずしも矛盾するものではない、これからは、主婦となつても職業に勤務するがよいと思ふ。善いと云つても惡いと云つても仕方がない、どうしてもこれからはさうせねばならぬ事になるだらうと思ふ。一面生活難から婦人も引込んで居られなくなり、一面經濟上の餘裕はあつても、瓦斯、水道は出來、家庭内の勞働が減ずる、精神的に勉強研究活働を要求する。又結婚を境に職業を捨て社會上の位置を捨てゝ了ふと云ふ事は善くない。夫はズン／＼社會上に進歩し、妻君は何時までも同じ處に止まつて居ると自然面白くないから、夫は他の社會的の婦人と親しくなる。世帶じみた世話女房がいやになつて來る、だからどうしても夫と共に進んで行かねばならぬ。

早く同趣味、同理想同職業の夫と結婚して就職して居ると云ふ事は、家庭の平和を紊し、婦人の進歩を防げ、自由を束縛すると云ふ事にはならぬ、松井すま子さんの、先の夫はどう云ふ人でどう云ふ理由で分れたのか知らないが、もし理想の夫があつたならば此度の樣な事はなかつただらうと思ふ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

他山の石

▲夫婦喧嘩の必要（新小説）　岩野はきつと「御前と喧嘩をしてゐる方が餘程仕事のはかゞいつてよい」と申します……喧嘩の爲め仕事が常よりも餘計に出來る位ならばまあ私共の夫婦喧嘩は有難いものだと思つて居ります（岩野清子）△高島先生は、之れを讀んで、成程夫婦喧嘩にも價値がある、毆ろの、打つのと云ふ風では困るが、モツト度の弱い喧嘩ならば、時々必要であらう。何ぜと云ふに、夫婦喧嘩のある毎に、二人ともお互の事を能く考へ、ソレが進歩の原因となるからである。夫婦喧嘩は病氣と同じである、病氣は人生に必要で、人をして能く考へさすが、夫婦喧嘩も能く考へさす。喧嘩がイヤな人は、時々夫婦が別れて居て見るがよい、境遇が一寸も變らぬと厭きが來るから、時々別れて見るも面白いと話された。記者も同感である。

▲眼は小供から少しも離れぬ英國婦人　これに就いて面白い話がある、和蘭の婦人が汽船の甲板で小供を遊ばせて居る場合に子供を後から確乎と抑へて離さぬ程苦勞性であるのに、眼の方は外の方ばつかり見て居る。之に反して英國の婦人は子供を勝手に遊ばせて置いて、決して行動を抑制しやうとせぬが、眼は子供から少しも離さぬといふ事である。英國が興隆して和蘭が衰頽する理由も、蓋し偶然でない事を發見する、日本の婦人は果して孰れの婦人型に箝つて居るであらうか。（嚴谷小波氏）△之れからは日本婦人も、眼は小供から少しも離れぬ英國婦人の樣にあらればならぬ。（記者）

▲生命の源―文化の泉（六合雜誌）第一に生命の賦與者は婦人である。第二に火の發見者は婦人である。第三に言語を發明し、これを保存したものも婦人である。第四に音樂の創造者も婦人である。第五に農業を始めたのも婦人である。第六に最初に土器を作りたるものは食物保存の必要に迫られたる原始時代の婦人であつたゞらう。第七に。最初の工業も婦人の考へから出たものであらう。第八に、婦人は又趣味の創造者であつたらう。（内ヶ崎作三郎氏）△以上の八點より婦人は生命の源――文化の泉であることを詳論したものであつて、實に面白く有益に拜讀しました。（記者）

▲婦人問題に就て（道）　今現はれた新しい女とか、眞新婦人とかなぞ云ふものが出來たそうですが、私はまだ其の眞相を能く承知致しませんから、是非の評をするのは極めて早計であると存じますが……畢竟凡ての婦人が、よく眞理が解つてさへ居れば、例の新らしい女が出ても、又英國の新しい女

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が來ても心配はないのです。併し皆さんが之に御迷ひになる樣では大變です。(下田歌子女史)△日本婦人界第一流の識見家を以て任じの下田さんが、新しい女の眞相をまだ承知しませぬとは何事ぞ、ソンナ怠慢なことで若い女が導けますか。又『皆さんが御迷ひになる樣では大變です』とは何事ぞ。前には知らぬと云ひ、後とではソンナものに迷てはいかぬと云ふ、此の文章から見ると下田さんは、知らずに新しい女を惡いものと解して居るのであるらしい。知らずに何んでも新らしいものを惡く思ふのは月並な老人の考へです、下田さん程の女傑でも老ては何んとやら氣の毒なものだ(記者)。

▲意志の強い女(新紀元) 私の處には、能く嫁を貰ひに來る人がある。貰ひに來ない迄も、身元、人物の問合をする人がある。斯る人はドンナ婦人を希望するかと云ふと、それは人に依つて少しづゝの相違はあるけれども各人の一致する所は、彼の女は、確りして居ますかの一語で、他の事はほんの參考に迄聞く位である。(岸邊福雄氏)△女は強よくあらねばならぬなぞと云へば、ソレや大變ちやなぞと云ふ人が多いが、ソウ云ふ人でも今日はモウ實は強い女を要求して居るのである。日に〱難儀になつて行く世の中を弱い女を道づれにしてドウして渡れます。(記者)

▲婦人に肝要な新しき覺悟(新民家庭) 生活の爲めに妻も働かればならぬ今の世の中、かくの如き時勢に於て要求する婦人は、良妻賢母となつて内助の功を積むといふことよりも、むしろ一歩進んで夫を助け、一家の生計を補ふて行くだけの素養と敎育とがあるものでなくてはなりませぬ、さうするには良妻賢母だけでは物足りませぬ。(江木衷氏)△私共と同說です(記者)

▲有機社會の一分子(中央公論) 婦人解放論を主張する方も、これを非難する方も、共に女子を男子と分離し、女子を以て一個獨立の生體として、議論するの傾向がある、これは不條理の甚しきものといはねばならぬ。女子は男子と共に有機社會の一分子をなすべきもので、これを個々に分離しては其生存を全くすべきものではないのである。故に、女子の問題を議するには、必ず、これを男子と合せて有機社會の一分子としてその價値を評價せねばならぬ(富士川游氏)△私共はお說の通りの考へで、婦人解放論を主張して居るものである(記者)

▲男女對等(中央公論) 吾々の求めるところは女を男にしようといふのでなく、男と對等の女にしたいといふのである、自然の女にしたいといふのである。では、それは何の爲めか對等の女が一層美しいからである、自然の女が一層美しいからである、言ひかへれば一層多く眞實の愛に適してゐるからである。……人と人とが對等の理解と感情とを以て、而かも全存在を擧げて相互の犧牲となる、自覺ある全存在的犧牲の交換である(島村抱月氏)△私共は中心より島村氏の此の說に贊成するものである。(記者)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

桃の實

小口みち子

目さめても夢は見るかな紫の
　雲に乘るゆめ地に墮つる夢

キリストが花恥かしき少女にて
　ユダヤにもしや生れ給ひなば

氷の山數多たゞよふ北海の
　風がもて來てはらみし人ら

來世には小とりの中の姫宮の
　梅の心はむ鶯となる

をとめにて父母に先だち逝く國は
　よき衣の山りぼんの小川

美衣美裝やかばたゞる〻皮一重
　何を包むや答へよをんな

桃の實を朝の日の出と夜の露が
　化粧してやる娘のやうに

妹も母も悲しやあまつさへ
　我れさへ女土はふをんな

太陽は默して照す啞ならむ
　海月星花みな啞ならむ

余りにも尼のやうにも少女にて
　ありける人のいとほしければ

子を生むをてがらのやうにはやされて
　怪しきさまに涙ぞ墮つる

蛇のはふけもの〻吠ゆる山つゞき
　家居して居る男と女

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

前回講演筆記の正誤

高野重三

本號には高野先生の婦人脱線論があるから一回オリブ・シユライネルの『婦人と勞働』に關する講演の筆記を休みます。けれども前回の講演筆記に大分、間違つた點があつたから、茲に高野先生に御伺ひして、正誤を致します。(記者)

△はしがきの中に　米國文學士云々とありましたが、私は今加奈太のトロント大學の一部になつて居るヴキクトリヤ大學を卒業したものです。加奈太も米大陸の一部だと云へば米國文學士でよろしいが、加奈太は英領だと云へば英國文學士です、ツマラヌことだが一寸正誤して置きます。

△著述の由來　の中に『前著が燒かれて後、全部書き直す勇氣がなく、序文と後三章としか出來なんだ。『婦人と勞働』と題して出版されたのが卽ち其原稿である』と、あるが、序文と後三章とであつたのは、元の原稿の事で、此の本は其の原稿の十二分の一位だと云はるゝ程に元の原稿は大きなものであつたのであります。

△本文の梗概　本文が三章とありましたが、三章ではない六章です。六章の中初めの三章は寄生論である。前回筆記の中、寄生論の所に於て其の終りに『更に同じ働きをなしても女は男より賃銀の安いのは何事ぞと憤慨してある』と書いてあるが、此の一句は序文中の言葉で、本文中の言葉ではない。卽ち元の原稿では女は男より賃銀の安いのを不都合であると通論したが、此本では論じてないと、序文でお斷りをしてあるのです。

△ソレカラ第二章ではない、第四章が『戰爭と婦人』であつて、前號に、婦人は兵役の義務を盡さぬから、參政權を與へぬとの語を、婦人の子を産む苦しみは兵役に優ると云つて打破したのは、オリブ・シユライネルであるかの如く書いてあつたが、ソレは謬りである。ソウ云ふ論をしたのはベーベルでシユライネルの論は左の如くである。

昔は戰爭と云へば腕力ですべきものであつたが、今は機械でするのである、ソコで今日は婦人と云へども、戰爭をしやうと思へば出來ないことはない。のみならず平和を來たすには婦人の力を借るより外に道がない。何ぜと云ふに戰場に出て死ぬ者は多く壯年男子であつて、其の母たる婦人の悲しみは實に非常である、であるから若し婦人は選擧權を與へたならば、必らず平和を來たすであらう云々。

第五章　に於ては男女兩性の性の違てる所を論じてある。要するに、男女兩性ソンナに違て居らぬと云ふのが、シユライネルの議論の立場であります。

△第六章　に於ては、新らしき婦人論に對して、種々の反對論が起き來るのを、右に左に切開いて行つてあるのである。此章を讀めば新らしき婦人論に對する、種々の反對論を辯駁するによき材料を得ることが出來る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

圓窓よりを讀みて

木村駒子

明子さんより寄贈になつた、圓窓よりを讀んで見た、評論や小說體の夥數ある中で、どうしても、卷頭の宣言とでも云ふべき「元始女性は太陽であつた」の一文に明子さんの憧憬や煩悶やが言ひ現はされて居るやうに思ふ、そして大變に神祕と云ふ文字が尖く、私は人の作を評論するのは一體きらひであるが、禪定とか、神道とか書いてあるので、少しばかり言ひたくなつた、

明子さんは、祈禱力や意志力や禪定力や神通力や精神集注力やを同一に見て居られるやうであるが私は少し此等のものに楷段があるやうに實驗したそれから神祕の意義を「私共の主觀のどん底に於て人間の深き瞑想の奥に於てのみ見られる現實其儘の神祕」と言つてあるが徹底したやうで徹底しない思想である。實驗したもの丶眼から見れば只文字上の事としか思はれない、「神祕に通ずる唯一の門」を精神集注と言つてあるが、まだ恐らくは一度も所謂精神集注を試みたことは無いやうに思はる丶。

兎に角、明子さんの思想の眼は男性も女性も打越えた處に眞正の人がある、それが神祕で天才であるそれで私共は男女の性を超脫した眞正の人とならねばならぬ、眞正の人、天才と言ふのを象徴的に太陽と名づけたのであろう、今までの女が家事にのみ心して居るので注意が煩瑣になつて、精神集注が駄目になる。それで神祕や天才が潜んで了つたと言ふのであろう、一應尤ものやうに聞えるが、一體、男性や女性を超脫した眞正の人とはどんなものであろう、古への宗敎的、哲學的、藝術的な天才を捕へ來つて考へて見ても、男女の性は歴然として存するやうに思はれるし、人間の想像によつて現じて居る、神佛の如きもやはり男女の性は存して居る、男女の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

性を超越するなどと言ふのは、丁度、彼の宇宙の本體は眞如の一元である、主觀客觀を攝した實在である、と言ふやうなものは理に聞えるが畢竟、理想の影である、思想や文字に捕はれた因習的な考へである、男女の性は嚴然として、宇宙の根底、萬有の原動力で、如何なる冥想も如何なる神秘も、この兩性を離れることは出來ない。兩性の接觸によつて神秘も天才も生れるのである。否宇宙の全體が悉くこの兩性の接觸作用そのものである、科學も現實も自然も悉くこれを保證する。

メスメルが催眠術を始めたなどは間違つた考へで、メスメルは動物磁氣術の稱道者で、催眠術を稱へたのはゼームス、ブレードと言ふ淺薄なる醫者であつた、催眠狀態になつたことがないと言つてあるから無理もないが、狀態の説明は誠に門外の人の考へに過ぎない、誠に徹底して居ない、明子さんに御すゝめしたいのは今少し詩的な空想的な方面でなく、實驗的にこの方面を研究されることである。

催眠術に掛れないなどと言つてあるが、それはその催眠術を掛けた人が無價値であつたからであらう人間として何人も感じないと言のは斷じてない。

思想がきれ〴〵になつて居るから、これはこれ、あれはあれと、截然たる區劃はとても出來ない、要するに、自己は宇宙の生みなしたる唯一のもの、孤峯頂上に寂寥を樂んで、雲の去來もうるさしとするのであらう、私はこゝに其思想の幼稚なるを憐まざるを得ない。私の哲學によれば明子さんは確かに女性の力マイナスの磁力の旺盛なる女性である、そしてその相反の力、則ち男性の力プラスの磁力を死にもの狂ひに女性自身の中に求めて居るに相違ない。求めて得られざる悲しみに獨存の王者とならうとして居る、女性最終の本能の渴望を天才の神秘に漏らして居る、繰返して御すゝめしたいのは、精神集注の不斷の繼續、自己の徹底、潜める天才を産む爲めに、隱れたる太陽を輝かすために、神秘哲學を神秘の當體なる自己を以て實驗的に身證することである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

短歌

小口みち子選

二等　長田雪枝

いたましき心ののちのしづ心、嵐なぎぬる有明に似て

三等　岩崎壽枝

ほの青く樹杣の煙の立ちこめて、いまだ眠れる曉の森

選外佳作

長田雪枝

思ひ出は紅に紫にわきいづる美しきかななづかしきかな。

岩崎壽枝

旅にきて亡き父思ふおばしまに遠く驛馬の嘶きを聞く。

杣つくる老爺の斧の音冴えて百舌鳥のなくなる溪の道かな。

藤井夕ネ

往きぬれて羽音かすかに曉をまちて去にけりふところの鳥。

さくらんぼうすら赤みをなつかしむ。君が頬にも似てなづかしや。

悲しめば悲しきまゝに暮れて行く、この丸窓のさみしき夕。

思ひ出は八月となるなつかしや君と別れし日もありしかな。

君とふたり此濱邊にて潮なりをきゝつ語りしその夏の午后。

別れ行く高師が濱の夕月夜、波の花散るこの夕かな。

淺井ゆき子

さふらんのうす紫の花はよし君がつつぎのうす色に似て。

石垣の一もとすみれうなだれて咲ける姿もあはれなるかな。

物云はぬ淋しき人のさまに似て紫陽の花は夕闇に咲く。

杉丸稻子

濃き赤きだりやの花の散りゆけばわがよろこびも消えし心地す。

たけ高き葵のゆらぐ夕闇に水は動かぬ山寺の池。

紅にけむる夕陽の丘に立てば髮そつたひて女郎蜘蛛ふる。

螢狩りに行きしと云ひし人をまつ窓を狹霧はつゝみにと來る。

選者

無花果の葉かげはエダが死ぬところ、櫻の木かげ誰が死ぬところ。

俳句

夏山茂子選

一等　片桐潤子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

讀飽きし徒然草や籠枕

二等

鈴蟲や露の小徑の盡んとす　松丸稻子

三等

白百合や地層おかしき切通し　吉原とみ子

選外佳作

十日月鵜の吐く鮎の光りけり　片桐潤子
撫子の露を蓬の眼に涼し　吉波眞子
機織を覗きて行きぬ富士詣　片桐くみ子
あやし火の遠く見えけり秋の海　同
別荘の茂をもる、ピヤノかな　賀田桐江
釣人の晝飯喰ふや合歡の花　山崎琴子
朝晴や松原一里蟬時雨　大矢とく子
燭ゆらぐ局の部屋や更衣　竹村房代
花桐に枕の草紙讀み耽ける　同
涼さは貝拾ふ子に字を教ゆ　磯部高子
杉山に杉植へる月や雲の峰　同
川魚の料理めづらし夏祭　同
道問へば逃る兒のあり木瓜の花　森豊子
北嵯峨に御歌使やほとゝぎす　吉本靜子
川一つ隔し向ふ螢かな　木村愛子
灯ともせば靜かに動く若葉哉　同
蟲賣の蟲みな買ひて放ちけり

選者

現實へ

有田倭文

一

今年廿才の我が心は
狂ひしライヤルの如く
かきならしても／＼
さらに好い音は出ない
調子の狂うた心は

二

今年廿才の若い乙女は
震へる心を仰へながら
惡魔の森を急ぎ足に過ぎゆく
そこは現實と名のつくところ

三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ホット一息ついた處には
たゞれた空氣が漲ぎつて
幽暗のとばりはたれてある
見渡した瞳には
現實暴露の悲しみが
かすかに動いて

四

過去の背景や
妻美しき冤神の手はなさも

我が心を蘇へさむとして居る
されど深き眠より醒めた女は
更に振り向ふともしない
あらゆる戰に疲れた肉體には
だろそうな目が見えて――
なほも震へはとまらない
兩手を胸に抱き乍ら
現實へ〳〵と醒めて行く　（をはり）

＊　＊　＊　＊

いざこと問む東鳥

如水

なにしおはゞいざこと問む都鳥わが思ふ人はありやなしやと、是れは取もなほさず彼の有名なる業平朝臣東下りの砌の、武藏の國と下總の境を流るゝ隅田川の邊にてものせられたのであるといふことは、誰れ知らぬ人はあるまい。

信僞は暫く措き、嘗て齒科醫試驗のとき、業平の問ひに對し、都鳥はなんと答へしやといふ問題を出した、すると受驗者の狼狽は一と通りではない、いづれも面喰つて、グウの音もです、軈て此問題の爲物議を惹起し、揩たもんだの大騒ぎとなつたと云ふことを聞たことがある。

今日の如く煙で御飯を炊き、魚を燒き、お湯を沸す時代なれば、これしきの問題なんの苦もなく、隅田の河水の滾々として流れ去る如く、立ちどころに答辯するであつたろう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

煙といへば、舊聞なれども、往年故下山藥學博士が、煙は富國强兵の基といふ題で、炭燒竈より發散する煙を冷却せしめ酢酸を製造し是れを食用及工業用とする、日本國中の木炭の消費高と、是れに要する木材の尺〆迄を精密に調査勘定し、數字を以て具體的に說明した、然るに各方面から法螺吹きなりと誹謗する位はまだしも、甚敷は下山は山師なりとまでに絶叫されたには、自分ながら少からず驚いたと同時に、今日のまゝの敎育方針では歐洲の日進月歩の文明國と肩を並べて行ことは不可能である、先以て應用化學の普及をはからねばならんと、しみ〴〵感じたとて歎息しつゝ話されたが、其當時誹謗した人々が、現に東京市中八百八町の大道小路の地下に、其人口と幅員とに應じて蜘手に埋設せられてある鐵管の中に、煙が充滿して四六時中間斷なく流通してをるを睹ては、如何なかんじがある、其煙がどんなつとめをしてをるかといふに、御飯を炊き、魚を燒き、間接に火災保險をなし、新炭の納屋を養鷄場に改造せしめ、活き〳〵たる滋養物を產出せしめ、お女中は思ひ〳〵の職につき獨立生活の途を開き、新眞婦人となるあり、直接には主婦の懷中に少なからぬ剩餘金を生ぜしめ、郵便貯金激增し、主人公の機嫌は斜にして遺憾なく、齊國唯一の材料となつてをる是れ則ち石炭より發散する煙である、其異名を瓦斯といふ。洵に煙は富國强兵の基たることを說明しておる。

自己の不明の爲に人を誹謗するとか、彼れ是れ物議を惹起せしむるは其愚笑に堪えたりである。餘談は措て、前說を歸納し以て演譯すれば、昔も今も隅田川にピイ〳〵鳴飛びまわりをる白き鳥は、沖の鷗といふ業平朝臣のいはゆる都鳥である。俗說に白中人の隙を窺ひ衣類なり靴をかつさらひゆく人を鳥といひ、又夜闇黑なる路次に眞白に化粧してたゞずみ往き來の遊治郎を小手もてちよい〳〵と招く女を夜鷹といふ、是れはあしざまの引證なれども、鳥を人に擬してをる是れによりて見れば、業平は東娘を都鳥と呼んだのではあるまいか、而して東の娘子は悲ひともじは知つてをるが、三十一文字をもつて意志を表はす如き優雅の道は知るまい、到底自分等都人の相手にはならんと輕蔑したのではあるまいか。

若し今日尙ほ婦人にして煙の應用を知らぬ人があつたなら、業平朝臣をして名をなさしむるのではあるまいか、いざこと問ん東鳥。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東西南北

▲大阪より（宮崎光子女史）

拜啓　其後は甚だ御ぶさた申上相すみません、たび／＼御はがきありがたく拜見致しました。旅行先きの感想も苦しい事が多くてあまり感心しないおもしろからぬ事のみにて、差上候ても一向つまらぬと思ひまして。

東京でも宗教の傳道となると多くの人は了解されないで冷かし半分に公園などで聞く如く、京都大阪になると一層それが激しい樣です。大勢集まりまする事は集まるが、一切半解の御都合主義と來て居るから、私達の努力もなか／＼に結果を納むる譯にまゐりません、たゞ金光教本部に於ける教祖直弟子達の中にて婦人の身として獻身犠牲に奮鬪の信仰生活を續けた婦人方には多大の敬意と同情とを表しました。何處に行きましても私達は當分都合よく講演會でも開かれる事は一寸むつかしいのであります。さればと云つて歸京することも出來ませんから、初めから終まで東奔西走してやつと一回の講演でも致すと云ふ次第にて、常識から見れば馬鹿らしくて骨折のみでありますが、こゝが私達の重大な責任であると思ひまするど、やらねばならぬと強い感じがするのであります。今日も公園で大道演說を致します、私等の爲めにはたゞ青天上のみ自由に眞理の宣傳をゆるします。

七月には歸省出來ません、皆々樣によろしく御傳へを。

▲藤生てい子女史より

過日は御尋ね被下候所一寸外出、失禮仕り候御申置きの御事并に何よりの御菓子御禮申上候、然るに『筆なくはえて一と思案』致せしかど、此度は何も出て來ませんので御菓子たべ逃げを極め込み候間不惡思召被下度御詫び申上候何か考へられたら其せつは御紙上をけがし可申候。

▲尾崎恒子女史より

先日朝日新聞であなたのお召物などの事に就ての記事を見ました時、私は腹が立ちましてれまア失敬な、天下の朝日新聞たるものが何んと云ふ事だらう、下らない事を云つてと憤慨と云ふより寧ろ腹が立ちましたの。

處で其の後一度某所で二三の友が寄りました時に、又しても貴女のお召物などの話が出ました次第、いよ／＼私は腹が立つてたまらず遂に一同を敵とし大に議論を致しました。私だつて緣のある新眞婦人の文子樣の事ですもの氣にかけずには居られません。

それから其の後あなたにお目にかかつてそんなおはなしを致し度いと存じて居りました處へ、今日お越し下さいまして、不圖拜見致しますと是れは又意外、！

失禮で御座いますが文子樣は余り極より極ではいらつしやらないかと存じましたの、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

で他に誰れも居りませんでしたらそんなお話でもと存じましたのですが、殘念で御座いました。そこで私からこんな事を申上げましては誠に失禮で御座いますけれども、私から考へますと貴女方の様なお方は成可く上品で粋な、さらりとした柄の物をお召あそばしたら宜くはないかとそんじます。

ナニ世間の評や感情などと例の主義で思召ますか知れませんが、矢張り世間も一のお友達ですから着物や髪飾など下らぬものは矢張り通俗にあそばしておく方が、宜しくはないかと私はそんじますが如何でせうか。

余計な老婆心失禮の段は同志の隔なき故とお許下さいまし、いづれ又お目もじの上

萬々

みな月十六日夜　　　　恒女

文子様

今一通恒子様から、私の着て行つた着物の縞が菊五郎格子と云ふのであるから、以後は決してあれは用ゐないやうにと云ふ長い御親切な手紙を頂きました。私は實にヒヤリとして感泣いたしました。私は實際無頓着でしたのです、なか／＼人には注意して上げたい、忠告したいと思つても餘計な世話をしていやな思をしられてもと思ひ、又注意しても乾度自我を通して用ひない人だと思へば決して申しては呉れないものであります。私も能くこうした場合に苦しみました、眞實親切で云うても虚榮心の強い女は喜ばないものです、私は尾崎さんの親切を非常に嬉しく思ひました。『私は元來衣服を自分で撰り好みした事がないのです、娘時代にも母が衣服の事など云ふと耻かしがつたものです、今でも衣服を作ると云ふ事は大變おつくうで氣耻かしい様な心地がします。そして十年來殆んどあるに任せて用ゐて來たものです、然しモーそのあるに任せて來たものもだん／＼古くなりましたから、これからは成べく自分にも、見る人にも心持ちのよささうなさつぱりしたものを新調したらばよからうと思ひますが、やはり衣服に對する趣味と習慣が養はれて居ないのには、どうも困ります、どうが今後調へます時には相談相手になつて頂きたい』と云ふ様な御返事をした次第です（文子）

婦人問題研究會

七月十三日午後一時より、牛込五軒町清風亭に於て開會。集まるもの三十名ばかり、はじめに西川文子『松井須磨子論』と題してお話を爲し次に高野先生の『オリブ・シュライネルの婦人と勞働』に就ての續講、及び吉川巖先生の『海外發展と日本の婦人』に就てのお話があつた。尚ほ十名ばかり居殘つて婦人問題に就ての談話に花が咲き夕方まで盛んに論じました。研究會八月は休み、九月よりは研究會も和強樂堂あたりで開こうかと相談して居ります。尤も月によりては、會員の方か賛助員の方の御宅をお借りして、それは會員及び賛助員ばかりで開こうとも思ふて居ります。婦人雄辯會も九月には開きたいと思ふて居ります。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新刊紹介

▲予が婦人観（黒岩周六氏著）

黒岩先生の婦人論は、要するに婦人の貞操論を以て一貫して居る。黒岩先生は婦人に向て『一夫にだも見えず』と云ふ程の强き貞操を要求し、此の貞操によりての外に、婦人の位地を高むる道がないと論じて居らるゝのである。之れは如何にも必要な議論である。職業婦人の増加は卽ち貞操上婦人の危險に陷るもの多きを意味することが、今日の實際である以上、貞操論を今日の婦人に向てするのは必要なことである。さりながら之れを以て一貫しようとするものは如何であらうか。婦人の貞操論を喧ましく云ふと共に、男子の貞操論も喧ましく云ひ、更に社會の制裁と云ふ方面よりして、獨身の職業婦人を保護する必要がありはせぬか。次に戀愛論に就て、私共はドウしても黒岩先生の説に同ずることが出來ないが、之れは曾て論じたから玆には云はぬ。モウ一つ黒岩先生は書中度々『事實は冷酷である』と云ひ、又『情よりは意志』と云ふことを說かれてある。玆が卽ち世のお目出度い宗敎家や敎育家よりも、黒岩先生の議論に權威のある所でありませうが、併し長所が卽ち短所で、黒岩先生の文には凉味餘りありて温味たらず、讀んで時々イヤな感じがします。成程感情上ソウ思はれるばかしでなく、議論として考へて温味たらず、情を輕じ過ぐる爲めに黒岩先生の議論には、またドコか欠けた所がありはせぬかと考へる。斯く思ふ所を不遠慮に申上げたが、之れは私が此書を讀みて感じた不滿な點で、勿論啓發された點は大にあるのです、私は本誌の讀者諸君に是非此書の一讀をおスヽメします、（六十錢小石川區原町丙午出版社發行）

▲婦人運動（西川光次郎氏著）

婦人運動、婦人問題の意義、範圍、歴史を一目瞭然たらしむの目的を以て、著はされたもので詳細は別項廣告にある通りです。エレン・ケイ女史とエリス氏の著書を參考にしたものであるが簡にして要を得た日本女性史も書中の一篇としてあります。婦人運動及び婦人問題に就ての議論喧ましき今日なれど、斷片的の議論が多くて全體を一纏めにして、筋を立て論じたものは少ない。此の際此の書の出たことは、婦人問題研究に意ある人々に益を與ふることであらうと信ずる、（三十五錢 東京府下巢鴨町字傳中内外出版協會）

▲中央公論婦人問題號

之を太陽の臨時增刊近時の婦人問題と比較するに、中央公論のは、ソレゾヽの人々に原稿を依賴し太陽の臨時增刊の如く、談話筆記を主としたものでないから、自然ソコに太陽に優ろ深味がある。併し太陽の臨時刊を評した時に云ふた樣に、目次丈けを見れば飛び付く程讀みたい樣に編輯はしてあるが、讀んで見ては、誰れでも多少の不滿を起さずには居れぬ拵へ方である（五十錢 本鄕區西片町 反省社）

投稿募集（〆切毎月十日）

▲夫の不品行を苦にせる御婦人方へ と云ふ題で前號には高島先生の說を載せ、本號には綱島先生の說を載せましたが、尙ほ數ヶ月間掲載する考へです、就ては廣く世の御婦人方からも、此の問題に就ての御意見を承はりたいのです、續々御投稿をお願ひします。

■和歌（一人五首以內） 小口みち子選

■俳句（一人五句以內） 夏山茂子選

賞 △和歌、俳句一等五十錢、二等三十錢、三等本誌二册

新眞婦人定價表（毎月一回一日發行）

一册	（郵税五厘）	拾錢
半年分	（郵税共前金）	六拾錢
一年分	（郵税共前金）	壹圓拾錢

御注意 ●注文は總て前金の事前金盡くれば必ず「盡」の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵券代用は壹錢又は五厘切手にて一割增

◎新眞婦人廣告料 特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正貳年七月廿七日印刷納本
大正貳年八月一日發行

發行兼編輯人及印刷人 本郷區駒込林町二〇〇 西川文子

印刷所 本所區番場町四 凸版印刷株式會社分工場

東京市本郷區駒込林町二百番地 新眞婦人社
郵便振替貯金口座 東京二四五五六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

季節向き化粧品陳列

御婚禮御化粧法

右御化粧法の義は當館々主多年の經驗により御素顏の美を損ぜぬやう又お召物との配合光りの接觸等入念なる注意と熟練せる技術とによりて御用命に應じ申すべく陸續御申込み相なりたく伏して希望いたし候

尙ほ季節向き御化粧品種々取り揃へ御注文に相叶ひ候やう陳列致しあり候外個人的にして一つの美術とも申すべき化粧法に關し當館多年の經驗により御相談の御相手たるべき事を確信致し居り候

東京市京橋區
竹川町一二

理容館

電話新橋一五一九
振替口座東京一四一〇〇

御化粧法の御相談相手

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御注文の際は必ず新眞婦人に依る旨御申添を乞ふ

最簡至便の婦人保護器は

婦人になくてならぬ外國みやげは

此レディースです

婦人は何事によらず受身であつて且弱いものであります殊に婦人の尤も苦しむのは確に持病といふ子宮病及び其原因で之が其豫防と治療法とはどなたも望む處であります

淋病黴毒の豫防。御婦人方は自分がいくら健康で全く清潔を守つて居つても受身であつて夫が梅毒とか淋疾とかを病んで居る時は自然自分も其病を受けて子孫に害を遺す事になりますから御婦人は寸時も此受身である事を忘れてはなりませぬと同時に洗滌を怠らぬ様に。

子宮内膜炎は。淋毒、姙娠、産褥、手淫、月經時の不攝生に原因し初め粘液を漏らし下腹部に疼痛を起しヒステリー症となります。

子なき婦人。其原因は子宮病か又は酸性分泌液の爲に受胎を妨ぐるのでありますから此レディースで酸性分泌液を洗滌する事が肝要です但し逆に交接後に洗滌すると姙孕しませぬから御注意なさい。

こしけ、膣カタル。といふのは多く淋病の傳染や。不潔な交接。子宮内膜炎。悪性のはれもの。蟯虫。房事過度などが原因となり粘膜のはれ又は疼痛、悪寒、發熱、近小便、交接不能を起して遂に白色の粘液が出て貧血に陷るものです。

膣創傷。異物の挿入或は手淫外傷亂暴な交接の爲に粘膜を傷害するより起ります。

以上の諸症は適當な方法に由て豫防し治療することが出來ます其方法は外でもありませぬ現今歐米で盛んに行はれ賞讃せられて居る簡便膣洗滌法であります。

皆様も御承知の通り今迄の洗滌器は、かさばつて誠に不便でありましたが此レイデースは圖の樣に簡單で且内部が誠に精巧でありますから自由自在、隨所で洗び且つ藥液を漏さす洗つた後も亦清淨に洗液を吸取ります。

詳細の説明書は本誌購讀者に無料で送呈します。

特價 レディース 一具箱入 金三圓 同附屬具及藥品附一箱金四圓

當會社は資本金五拾萬圓の日本第一流の紳士によりて組織せられたる日本第一の製藥株式會社でありますから當社の製劑及器械には絶對的に御安心なさい

東京麴町區有樂町三ノ一
電話新橋二二三三番
振替東京二〇五貳貳番

星製藥株式會社

腦病精神病 專門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨腦病院

（長電話番町三〇九八）

入院隨意

院長 醫學博士 石川貞吉

腦病精神病 専門

東京田端

東京腦病院

電話下谷二二〇二番

院長 後藤省吾

醫學士 黒澤良臣

わきが

最も人にきらはれる

の病に罹られたる御方又永年慢性わきがにて色々の治療を施されても治らずに苦まるゝ御方の爲めに不思議によくきく治療法を御知らせ致しますす御望みの御方は御遠慮なく只返信料三錢切手御送り下されば御知らせ致します

東京神田區錦町三ノ三 中村喜三郎

西川文子 木村駒子 宮崎光子合著

再版

新らしき女の行く可き道

定價金五拾錢 送料金八錢

私共は新眞婦人會を起したが、其の目的の何れにあるかを御尋ねの方々に此の書の一讀を願ひます。私共は又婦人雄辯會を開きましたが、何んの必要ありてソンナことをするかとお尋ねの方々に、此の書の一讀を願ひます。更に又女の見たる社會觀、男子觀を知りたい方々に、歐米で喧ましい婦人運動が如何に日本婦人の頭に影響せんとしつゝあるかを知りたい方々に此書の一讀を希望します。

發行所 東京麹町二丁目二番地 洛陽堂

振替東京二〇九一四
電話番町四一五八

取次所 東京本郷駒込林町二〇〇 新眞婦人社

肉體色白新劑

本劑は近時佛國パリス貴紳淑女間に最新流行の發明劑にして生來色黒き男女にても平素之を用ゆれば本劑の主成分たる皮膚漂白性作用により漸次肉體**白色**となり肌を滑にし皺を伸しあれ及吹出物を治し**艶美**の容貌となる卓効を有す世上種々雜多の色白藥を用ひて奏効なき人は速に本劑特製分貳劑を試よ偉大なる奇効完全に顯る價並製壹劑壹圓廿錢特別製劑貳圓貳拾錢

色白飲藥

英國輸入の全身清血劑にして飲んで體内の惡血毒血惡液を體外に排泄し血液を清淨にし完全に肉色を**白色艶美**ならしむる奇効顯著藥なり價壹劑貳圓九拾錢參劑七圓九拾錢五劑拾貳圓五拾錢色白新劑と内外双方併用せば偉大の奏効迅速に顯る着金即刻送藥す

腋臭必治劑（わきがひっしざい）

本劑は腋臭症に對し最近の學理と實驗とにより研究發見せられたる**斯病唯一**の理想的卓効新藥にて本劑の作用により其病原汗腺を根底より變質せしむるを以て如何なる難症腋臭も完全に治癒す故に他藥にて全治せざる患者は早く試み病原を去り**苦惱を脫**せよ難重症は特別製を用ゆれば完全著効を奏す藥價輕症用壹圓八拾錢重症用貳圓八拾錢慢性症用五圓八拾錢頑固症用特別製分拾圓八拾錢着金小包密送す

最新發見奇藥

陰萎病

特効新藥

本劑（藥名トニチン）は最近發見に係る陰萎病**唯一**の特効新劑にして其主治適應症を擧れば種々の原因より來る**陰萎病**精神性陰萎。貧血性陰萎。衰弱性陰萎。根氣衰弱。神經衰弱症。早漏。萎縮。元氣衰弱。腎虚冷症等に卓越絶倫なる奇効あり苟も精力を旺盛にし生殖機能を強健ならしめ人生の快樂を保全せんと欲する人は早く試よ偉大なる特効顯著なり藥價試用分壹劑貳圓輕症用五劑九圓五拾錢重症用八劑拾四圓五拾錢慢性症用拾參劑貳拾參圓也着金卽刻小包密送す

月やく下し通經劑

本劑は胃腸を害せず子宮を痛めず月經とまりを迅速に**通經**す長き滞り及び血塊には特製分を用ひよ極安生に快通**流經**す且つ月經不順より起る子宮病血の道を治癒し惡血古血を一掃す患者は早く試み卓絶偉大なる**特効**を知られよ近時無効類似偽藥多し御注意を乞ふ價は壹劑七拾錢貳劑壹圓廿錢參劑壹圓七拾錢特別製分貳圓卅錢頑固症用特製分四圓卅錢郵券代用貳割增し

婦人病の福音

本劑は最新の學理と多年の實驗とにより發見せられたる婦人病藥唯一の靈劑なるを以て頑固なる月經閉止及血塊拆と稱へ永年經水なきを快通流下するは勿論月經不調に基因して續發する逆上頭痛眩暈腰或は子宮に痛ある人腹子宮部の痙攣等に用ひ偉大なる卓効顯著なり早く試よ

（奇効顯著藥）

毛生へ新藥（けはへしんやく）

本劑（藥名ヘアーグロース）は多年研究實驗の結果發見したる**毛髮發生藥**なり卽ち男女共禿頭病の人各種の病氣にて脫毛する人頭髮及はゑぎわの薄き人陰部毛なき人まゆげ口ひげの薄き人其他總て毛のあるべき所に毛なき人用ゆれば毛髮着々と**發生**する**特効**あり本劑は世にありふれたる種々雜多の毛はへ藥とは其効大に異なるに付幸に玉瓦混同視することなく速に試み偉大なる奇効を知られよ價小瓶壹圓廿錢中瓶二圓卅錢大瓶五圓卅錢特別製分拾圓卅錢着金卽刻送藥す郵券代用必ず二割增しの事

やせる藥

壹劑參圓廿錢貳劑六圓二十錢特別製九圓拾錢

本劑（藥名ヨードチリン錠）は學理實驗に徵したる唯一の**瘦身劑**にて血ぶとり。酒ぶとり。あぶらぶとり。顔赤くほてり。のぼせ症。卒中症等總て肥滿質多血質脂肪過多質の人用ゆれば無害にして著しく體量を減じ脂肪を適度に脫し**美容健康**を保ち程よくやせる特効藥なり故に彼の見苦しくふとりたる諸君は速に本劑を用ひ其偉大なる卓効を知られよ

以上七藥專賣

東京市神田區五軒町十九番地

日新館藥房

電話下谷五百四十六番

振替東京一九二四六番

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

純正なる主義と清新なる趣味と活社會の實情と

世界之日本

天下の青年悉く偕な本誌に集まる

一年分税共金一圓廿錢　月一回(第四巻)　八月號　◉定價十一錢　半年分税共金六十錢

政界横斷論
▲封建全盛の時代
▲不眞面目なる政治黨
▲天下志士の進む可き道
立憲青年黨幹事長　橋本徹馬

●國際間の新難關○哀悼辭…社説

▽評論之評論(社説)……本誌記者
▼耶蘇の社會觀…早大教授　永井柳太郎
▽現代少壯政客論……鐵山　迂人

○木曾路の旅…村島歸之
●東京暗黑面…盧舍那
○長詩……長橋大河

●噴火山上の六大保險會社……記者　吉田興山

桂公及び新政黨を葬る…記者　坂本正雄

●司法大臣松田正久氏と語ろ…社長　橋本徹馬

▼袁の最後と黄いろアメリカ…萬朝記者　茅原華山
▽政友倶樂部論……代議士　岡崎邦輔
▽新らしき女に誨ゆ……代議士　井上角五郎

○世界の大勢……
○社會日誌……
○生活問答……
○口繪……

●四大會社の重役及び農相に與ふ……社説

政界側面觀
▲輿論は小便と水との混合物
▲現内閣は定九郎内閣也
▲不埒なる西園寺侯
▲畢丸振つて大道濶歩
男爵　後藤新平

發行所　東京市神田區駿河臺　世界之日本社　(振替東京二六八六)

新時代模範的婦女雜誌

毎月一回 一日發行

定價一冊金拾五錢外に郵稅壹錢五厘 半年分六冊郵稅共九拾四錢 一年分十二冊郵稅共壹圓七拾八錢

大正婦女社會

八月號概目

▼暑中と田園生活……横井博士
▼新らしい婦人と古しい婦人……村上學士
▼懸賞讀物「心の夢」……某學生
▼人形芝居の話……吉田兵吉
▼有樂座訪問記（女優論）……一記者
▼變裝貧民窟視察……女記者
▼小說「伯母の家」……中澤靜雄
▼蝶蜻蛉と女學生……下田歌子
▼綸畫造花と植物……白井博士
▼死したくて死したくない娘……福來博士
▼產婆の選擇……榊博士
▼子供の眼……山口博士

◎お望次第に顔の形をつくりあらためることができる……新歸朝者 山田重朝

發行所 東京市麹町區下二番町七〇 大正婦女社 振替貯金口座東京二〇五九九番

浅草公園

夏の水族館

坊ちゃん。孃ちゃん。入らつしやい。
大きな海驢(あじか)や龜が居ますよ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『萬朝報』社長 涙香 黑岩周六先生著

予が婦人觀

三六判美本
定價六十錢
郵税八錢

進歩的にして却て稍保守的の檢束あり古きが如くして實は極めて新しき趣味を有する黑岩先生の婦人觀はトルストイ的の絕對貞操觀に配合するに經濟的獨立の實際問題を以てし種々樣々の方面よりして斷案の片鱗を示しつゝ遂に人をして成程と承服せしむる老巧親切の文を爲す眞に現今婦人問題の燈明臺也世の年頃の娘その父母及び女子教育家の精讀を冀ふ

文學博士 村上專精先生著
▲女性訓
定價四十錢 郵税六錢

暮村隱士 久津見蕨村先生著
▲現代八面鋒
定價八十錢 郵税八錢

藤井瑞枝女史著
▲亂れ雲
定價八十錢 郵税八錢

堺利彥先生譯
▲ルソー自傳 赤裸の人
定價九十錢 郵税八錢

東京小石川區原町六 振替東京一五六八六 丙午出版社

東京小石川原町六 振替東京一三五三 鷄聲堂

●本誌愛讀者に告ぐ

風に咽ぶ松の籟渚に寄る濤の聲何れ悲韻を含まざるは無き東幡の幽境舞子の濱に薨去し給える　元帥海軍大將有栖川宮威仁親王殿下御斂葬の儀　去る十七日午前六時を以て麹町三年町の御本邸を出でまし　國葬の大禮を以て　皇城の北豐島ヶ岡の邊り蓊鬱たる杜の奥に神鎭まり給ひぬ

哀哉今や昇天の永訣に接して吾等潸然として涙の下るを禁ずる能はず　玆に誠恐誠惶を以て　我誌は普通記事の外に　五十頁と十數枚の寫眞版を增加し　**有栖川宮殿下哀悼號**となし　殿下御幼少の御頃より今日に至る迄の御事どもを記し奉り　殿下の御偉蹟を永久に活存せしめ奉りて以て奉悼の至誠を捧ぐ。

東京市京橋區西紺屋町十番地
月刊雜誌『新世紀』發行所
新世紀社編輯局

定價金貳拾壹錢五厘（郵稅共）
頁數及發行日（二百三十頁 八月一日發行）
（振替口座東京 二五二〇二番）

熱烈燃ゆるが如き革命家の態度

丸山小羊君著

巨傑ルーテル

▲特價提供一千部限 送料共金 四拾五錢

定價金四拾五錢

送料金八錢

▲赤貧洗ふが如き一鑛夫の兒より興りて竟に歐洲の天地を震動せしめたるの偉人！

▲渠「ルーテル」が歌ひ乞食の苦學時代より六十四年の活波瀾！

▲驕傲無比なる羅馬法王を罵倒し謝罪劵を責めて九拾五ケ條の宣言書を草し！

▲教會のドグマを嘲つて破門狀を群民が面前に燒く！

▲狂か亂か暴か魔か抑も亦、神か佛か將た聖賢か！

▲著者は是に冠して『巨傑』と云ふは「抑も巨傑とは何ぞや」に筆を起して全篇三十段！

▲血湧き骨鳴る快文字悉く是れ時代を覺醒せしむる木鐸！

▲請ふ本書を讀破し以て至誠一貫宗教改革の大業を成したる熱血兒の眞相を知れ！

發行所 東京市麻布區我善坊町五〇 修養世界社 振替口座東京二三〇七四番

瀬沼夏葉女史譯

チエホフ
二大戯曲

櫻の園
（附）叔父ワーニヤ

袖珍型天金特製
「鴨」と同型美本

■定價六拾錢
■郵送料六錢

『櫻の園』附するに『叔父ワーニヤ』を以てして、チエホフの二大脚本に收めたり。此二作が識見ある總ての批評家の推讃を受け、歐洲各國の劇場に演ぜらるゝこと實に幾百回。犀利にして皮肉、深刻にして明快、ユーモアに富みたる彼れ一流の哲學及び人生觀と、其の圓熟渾成せる技巧の姿とは、以て遺憾なく窺ふことを得べし。夏葉女史はチエホフに私淑多年、チエホフ紹介者としての確き自信と自負とを以て此二作を原語より邦譯す。その辭句、その調子、はた其氣分を傳ふるに於いて、一毫の間然すべきもののなきを疑はず。小社は此稀有の好譯本を我が文壇と劇壇とに提供するを得るを光榮となすもの也。

東京市麴町區飯田町三丁目二十五番地　新潮社　電話番町二二二三番　振替東京一七四二番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市麹町區内幸町一丁目三番地
電話新橋 長二一〇〇、二一〇一番
振替貯金口座 東京一八、九〇〇番

太平生命保險株式會社

社長 中村靜嘉
專務取締役 楠秀太郎
取締役 村井貞之助
取締役 内野五郎三
取締役 前川善平
取締役 倉知誠夫
取締役 左右田棟一
取締役 舟木錬太郎
監査役 潮田方藏
監査役 左右田信二郎
監査役 中田敬義

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

最新刊

西川光次郎著

婦人運動

定價金三十五錢　郵稅四錢

▲此書は、婦人問題及び婦人運動の意義、範圍、歷史を一目瞭然たらしむるの目的を以て編著せられたるものなり。

▲編著者が用ゐし重なる參考書は、婦人問題の豫言者エレン・ケイ女史の著書、及び婦人問題に就いては第一流の學者なるエリス氏の著書なり。

▲婦人問題及び婦人運動に注目する者は此の簡にして頗る要を得たる書よりして得る所必ずや多からむ。

目次

◎第一章婦人運動とは何ぞや◎第二章歐米婦人運動史◎第三章日本女性史◎第四章婦人運動の範圍及び分類◎第五章婦人運動の影響

細目一班

○上古の女○王朝時代の女○鎌倉時代の女○足利時代豐臣時代の女○德川時代の女○明治及び大正の女○明治の三女傑○婦人の政治運動○婦人問題に關する著書雜誌○婦人に對する男子の思想○青踏社○新眞婦人會○ノラとマグダ○婦人運動の大別○女子と政治○結婚問題○晚婚○戀愛の自由○離婚の自由○男子の貞操問題○人種改良○性慾の敎育○賣淫の問題○五十年間の變化○覺めたる者は更に覺めしめよ

西洞たみの譯編

偉人に及ぼせる婦人の感化

定價六拾錢　郵稅六錢

イー・ゼー・ハーテー原著　文學士本莊了一譯

最新刊

結婚に關して

定價四十錢　郵稅四錢

【目次】○第一章結婚の喜劇と悲劇○第二章結婚の時期○第三章結婚の相手○第四章結婚の約束○第五章著名なる戀物語○第六章獨身の老男老孃○第七章社會的野心○第八章社會的罪惡

（附錄）求婚小話……二十八篇

○逸り氣○愛がなくては○思ひの外○叶はぬ願○聽いて頂戴○まだ今では○聞えぬ聲○それでもの、○さゝ小舟○樫の下○忘れ物○無我夢中○幻影○見上る眼○常春藤○破船○長路○此の贈物○お友だち○心底まで○行かないで！○何方でも○洋琴○二通の手紙○なにがしに○セラー・ウオーカーに○ファンニーに○ジョン・アグムスに

黑川靜夫譯

五版

若き人々へ

定價五十錢　郵稅六錢

【目次】▲戀愛の卷—戀愛—眞の愛情—一ト目見た戀愛—初戀—希望と恐怖—眞と僞—戀愛の成立—眞の愛情の効果—婦人の要求する男—男の要求する女—女らしい女—艶書—求婚者へ一言—交際を始めるには—▲情交の卷—情交—其の期間の心得—交際の樂—婚約から結婚まで—結婚の申込—婚約に至るまでの心得—婚約後—結婚前の怡樂と將來の希望—結婚の禮式—初めて感ずる憂愁—結婚生活—新夫新婦—習慣—▲結婚の卷—結婚の心得—急變と緩和—花嫁の墮落—花嫁の自由—結婚時期と配偶—詩人の結婚觀察—先哲、詩人の要求—最初の夫婦喧嘩—抗辯と沈黙—仲直り—シイの歌—ドロシイの—君は細君の選擇—新夫新婦相互の要求—▲家庭の卷—家庭の幸福—家庭の敎育—行儀—惡習慣—衣服—戶外路上の作法—食卓上の作法—讓歩論—名刺の使用法—挨拶法—紹介法—訪問法—招待法—饗宴—贈答物

發行元　東京巢鴨町上駒込二十番地　振替口座東京三百五十五番

內外出版協會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新音譜賣出し

鳴渡れり！！噫々鳴渡れり！！ニッポノホン

蓄音機の美音は實に寒村僻地に鳴渡れり！！
朗々たる

何の故ぞや。此れ其工場に於て多年研究に腐心し之が改良進歩に心膽を砕きし賜に外ならざるなり

弊社は華客の趣向を旨とし嶄新なる音曲を選び茲に滿天下に紹介せんとす

◎ドンブラコ。（桃太郎一代記）帝劇歌劇部員演奏 北村季晴氏及初子女史（鷲印兩面盤）七、八、九、十

七月賣出しに兒童諸君の大喝采を得たるドンブラコは注文雨の如くに繁し茲に引續き四種の賣出しを試みんとす

◎和洋合奏（越後獅子、上、下、吾妻八景、娘道成寺）丹誤俱樂部員演奏（鷲印兩面盤）

丹誤俱樂部員の苦心の跡歴々たり和洋兩樂の調和誠に巧妙吾れを忘れて舞躍るの感あり

◎浪花節（大高源吾、山鹿護送道中付上、中、下 四郷南洲 上、下）東家樂燕（赤鷲印兩面盤）

浪界の尤物東家樂燕現はれたり心身共に溶けんばかりの聲調

◎唱歌（小學唱歌二宮金次郎、よく學びよく遊べ、雲雀 田植、蟬、浦島太郎、案山子、富士山、仁田四郎、雪）（赤鷲印兩面盤）

納所文子孃の玲瓏たる聲音文部省發行の小學唱歌十種は兒童諸君の好侶伴たり

◎軍樂隊（Valse, Loin du Bal, Cavaleria Rusticana Selection）陸軍戸山學校軍樂隊（鷲印兩面盤）

世界に覇を爭はんとする戸山學校軍樂隊が其最得意とせる洋樂二種聽いて血沸き肉躍るの感あり

鷲印兩面盤　金壹圓五拾錢

赤鷲印兩面盤　金貳圓也

全國四十の出張所と四百の特約店あり

神奈川縣川崎町

株式會社 日本蓄音器商會本店

電話川崎四九番

東京銀座一丁目

全卸部及小賣部

電話京橋二五七・二五八・二八八七番

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正二年七月二十五日印刷納本
大正二年八月一日發行（毎月一回一日發行）